注３ **大学番号：私立**

認可

［平成２９年度設置］

計画の区分： 大学の設置

注１

福井医療大学

注２

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人新田塚学園

令和２年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名　事務室長（ジムシツチョウ）　岩永（イワナガ）　和也（カズヤ）

電話番号　０７７６−５９−２２００

（夜間）　０７７６−５９−２２００

ＦＡＸ　０７７６−５９−２２０５

ｅ−mail　soumu@fukui-hsu.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例）　〇〇大学　△△学部　□□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和２年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保健医療学部

＜リハビリテーション学科＞　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４０
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４１
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４２
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６１
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６３

＜看護学科＞　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６９
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７３
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８７
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８８
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８９
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０１
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０４

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学校法人新田塚学園

（２）大　学　名

福井医療大学

（３）調査対象大学等の位置

〒９１０－３１９０
福井県福井市江上町５５字鳥町１３番１号

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ハヤシ セイガク） 林　正岳 （平成17年4月1日）	－	
学　　長	（ ヤマグチ アキオ） 山口　明夫 （平成29年4月1日）	－	
学 部 長	（ ホリ　ヒデアキ） 堀　秀昭 （平成29年4月1日）	－	
学科長等	（ フジモト　アキラ） 藤本　昭 （平成29年4月1日）	（ イシダ　ケイジ） 石田　圭二 （平成29年4月1日）	選任のため平成29年4月1日変更(29)

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和元年度に報告済の内容　→（元）
令和２年度に報告する内容　→（２）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は、平成２８年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和２年度までの５年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 リハビリテーション学科 学士（理学療法学） 学士（作業療法学） 学士（言語聴覚学）	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	年 4	人 120	年次 人 －	人 480	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	－人 （－） ［－］	－人	120人 （－） ［－］	－人	120人 （－） ［－］	－人	120人 （－） ［－］	－人	120人 （－） ［－］	－人	0.84倍	－倍	
志願者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	257 （－） ［－］	－ （－） ［－］	188 （－） ［－］	－ （－） ［－］	176 （－） ［－］	－ （－） ［－］	187 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
受験者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	251 （－） ［－］	－ （－） ［－］	178 （－） ［－］	－ （－） ［－］	171 （－） ［－］	－ （－） ［－］	176 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
合格者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	211 （－） ［－］	－ （－） ［－］	159 （－） ［－］	－ （－） ［－］	162 （－） ［－］	－ （－） ［－］	134 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
Ｂ　入学者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	102 （－） ［－］	－ （－） ［－］	102 （－） ［－］	－ （－） ［－］	103 （－） ［－］	－ （－） ［－］	101 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	－		0.85		0.85		0.85		0.84				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（　））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　［　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和２年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	101 [－] (－)	－ [－] (－)	103 [－] (1)	－ [－] (－)	105 [－] (2)	－ [－] (－)	102 [－] (1)	－ [－] (－)	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	93 [－] (－)	－ [－] (－)	107 [－] (8)	－ [－] (－)	106 [－] (3)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	83 [－] (－)	－ [－] (－)	103 [－] (11)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	76 [－] (－)	－ [－] (－)	
計	－ [－] (－)		101 [－] (－)		196 [－] (1)		295 [－] (10)		387 [－] (15)		

・令和２年５月１日　公表

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	内訳 退学者数	内訳 退学者数 うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
平成28年度	－ 人	－ 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
平成29年度	102 人	3 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、学力不足(1人)、就職(1人)
平成30年度	201 人	9 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	7 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(3人)、就職(2人)、就学意欲の低下(2人)
			平成30年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(2人)
令和元年度	295 人	9 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	4 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(3人)、学力不足(1人)
			平成30年度	5 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(5人)
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	387 人	0 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合　計		21 人		21 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

平成28年度の退学者数(a) / 平成28年度の在学者数(b) = － / － = － %

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) / 平成29年度の在学者数(b) = 3 / 102 = 2.94 %

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 9 / 201 = 4.47 %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 9 / 295 = 3.05 %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 0 / 387 = 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は、平成２８年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和２年度までの５年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 学士（理学療法学）	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	年 4	人 50	年次 人 －	人 200	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A　入学定員	－人 （－） [－]	－人	50人 （－） [－]	－人	50人 （－） [－]	－人	50人 （－） [－]	－人	50人 （－） [－]	－人	1.11倍	－倍	
志願者数	－ （－） [－]	－ （－） [－]	120 （－） [－]	－ （－） [－]	104 （－） [－]	－ （－） [－]	92 （－） [－]	－ （－） [－]	123 （－） [－]	－ （－） [－]			
受験者数	－ （－） [－]	－ （－） [－]	115 （－） [－]	－ （－） [－]	97 （－） [－]	－ （－） [－]	87 （－） [－]	－ （－） [－]	116 （－） [－]	－ （－） [－]			
合格者数	－ （－） [－]	－ （－） [－]	86 （－） [－]	－ （－） [－]	82 （－） [－]	－ （－） [－]	82 （－） [－]	－ （－） [－]	75 （－） [－]	－ （－） [－]			
B　入学者数	－ （－） [－]	－ （－） [－]	53 （－） [－]	－ （－） [－]	54 （－） [－]	－ （－） [－]	54 （－） [－]	－ （－） [－]	61 （－） [－]	－ （－） [－]			
入学定員超過率 B／A	－		1.06		1.08		1.08		1.22				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　[　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和２年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	53 [－] (　)	－ [－] (－)	55 [－] (1)	－ [－] (－)	55 [－] (1)	－ [－] (－)	62 [－] (1)	－ [－] (－)	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	47 [－] (－)	－ [－] (－)	55 [－] (3)	－ [－] (－)	57 [－] (3)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	44 [－] (－)	－ [－] (－)	53 [－] (7)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	38 [－] (－)	－ [－] (－)	
計	－ [－] (－)		53 [－] (－)		102 [－] (1)		154 [－] (4)		210 [－] (11)		

・令和２年５月１日　公表

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	内訳 退学者数	内訳 退学者数 うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
平成28年度	－ 人	－ 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
平成29年度	53 人	2 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、学力不足(1人)
平成30年度	105 人	5 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、就職(1人)、就学意欲の低下(1人)
			平成30年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(2人)
令和元年度	154 人	5 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人)
			平成30年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(3人)
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	210 人	0 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合　計		12 人		12 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

平成28年度の退学者数(a) / 平成28年度の在学者数(b) = － / － = － %

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) / 平成29年度の在学者数(b) = 2 / 53 = 3.77 %

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 5 / 105 = 4.76 %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 5 / 154 = 3.24 %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 0 / 210 = 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は、平成２８年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和２年度までの５年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 学士（作業療法学）	保健衛生学関係 （リハビリテーション関係） 経済学関係	年 4	人 40	年次 人 －	人 160	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A　入学定員	－人 （－） [－]	－人	40人 （－） [－]	－人	40人 （－） [－]	－人	40人 （－） [－]	－人	40人 （－） [－]	－人	0.71倍	－倍	
志願者数	－ （－） [－]	－ （－） [－]	75 （－） [－]	－ （－） [－]	48 （－） [－]	－ （－） [－]	49 （－） [－]	－ （－） [－]	44 （－） [－]	－ （－） [－]			
受験者数	－ （－） [－]	－ （－） [－]	74 （－） [－]	－ （－） [－]	45 （－） [－]	－ （－） [－]	49 （－） [－]	－ （－） [－]	40 （－） [－]	－ （－） [－]			
合格者数	－ （－） [－]	－ （－） [－]	67 （－） [－]	－ （－） [－]	43 （－） [－]	－ （－） [－]	48 （－） [－]	－ （－） [－]	39 （－） [－]	－ （－） [－]			
B　入学者数	－ （－） [－]	－ （－） [－]	31 （－） [－]	－ （－） [－]	28 （－） [－]	－ （－） [－]	28 （－） [－]	－ （－） [－]	27 （－） [－]	－ （－） [－]			
入学定員超過率 B／A	－		0.77		0.70		0.70		0.67				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　[　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和２年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	30 [－] (－)	－ [－] (－)	28 [－] (－)	－ [－] (－)	29 [－] (1)	－ [－] (－)	27 [－] (－)	－ [－] (－)	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	28 [－] (－)	－ [－] (－)	31 [－] (4)	－ [－] (－)	28 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	23 [－] (－)	－ [－] (－)	30 [－] (3)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	23 [－] (－)	－ [－] (－)	
計	－ [－] (－)		30 [－] (－)		56 [－] (－)		83 [－] (5)		108 [－] (3)		

・令和２年５月１日　公表

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	退学者数	うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
平成28年度	－ 人	－ 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
平成29年度	31 人	1 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	1 人	0 人	就職（1人）
平成30年度	58 人	3 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学（1人）、就職（1人） 就学意欲の低下（1人）
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	83 人	2 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学（1人）
			平成30年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学（1人）
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	108 人	0 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合　計		6 人		6 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

平成28年度の退学者数(a) / 平成28年度の在学者数(b) = － / － = #VALUE! %

数式が入力されています。

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) / 平成29年度の在学者数(b) = 1 / 31 = 3.22 %

数式が入力されています。

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 3 / 58 = 5.17 %

数式が入力されています。

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 2 / 83 = 2.4 %

数式が入力されています。

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 0 / 108 = 0 %

数式が入力されています。

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は、平成２８年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和２年度までの５年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻 学士（言語聴覚学）	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	年 4	人 30	年次 人 －	人 120	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	－人 （－） ［－］	－人	30人 （－） ［－］	－人	30人 （　） ［　］	－人	30人 （－） ［－］	－人	30人 （－） ［－］	－人	0.59倍	－倍	
志願者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	62 （－） ［－］	－ （－） ［－］	36 （－） ［－］	－ （－） ［－］	35 （－） ［－］	－ （－） ［－］	20 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
受験者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	62 （－） ［－］	－ （－） ［－］	36 （－） ［－］	－ （－） ［－］	35 （－） ［－］	－ （－） ［－］	20 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
合格者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	58 （－） ［－］	－ （－） ［－］	34 （－） ［－］	－ （－） ［－］	32 （－） ［－］	－ （－） ［－］	20 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
Ｂ　入学者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	18 （－） ［－］	－ （－） ［－］	20 （－） ［－］	－ （－） ［－］	21 （－） ［－］	－ （－） ［－］	13 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	－		0.60		0.66		0.70		0.43				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　［　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和２年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

学年＼対象年度	平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	18 [－] (－)	－ [－] (－)	20 [－] (－)	－ [－] (－)	21 [－] (－)	－ [－] (－)	13 [－] (－)	－ [－] (－)	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	18 [－] (－)	－ [－] (－)	21 [－] (1)	－ [－] (－)	21 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	16 [－] (－)	－ [－] (－)	20 [－] (1)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	15 [－] (－)	－ [－] (－)	
計	－ [－] (－)		18 [－] (－)		38 [－] (－)		58 [－] (1)		69 [－] (1)		

・令和２年５月１日　公表

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	退学者数	うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
平成28年度	－ 人	－ 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
平成29年度	18 人	0 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	38 人	1 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学（1人）
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	58 人	2 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	1 人	0 人	学力不足（1人）
			平成30年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学（1人）
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	69 人	0 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合　計		3 人		3 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-}\ \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0}\ \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{38} = \boxed{2.63}\ \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{58} = \boxed{3.44}\ \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{69} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜保健医療学部　リハビリテーション学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
一般教育科目	安全学	3前		2		1					
	教育学	1前		2							1
	統計学	2後		2		1					
	情報科学	2前		2		1					
	情報処理	3前		2				1			
	物理学	1前		2		1					
	生物学	1前	2								1
	人間工学	1後		2				1			
	文化人類学	2前		2							1
	哲学	2前		2							1
	人間関係論	2後		2							1
	心理学	1後		2							1
	家族心理学	2前		2							1
	生命倫理	1後	2								1
	倫理学	1前	2								1
	社会福祉学	1前		2							3
	ボランティア論	1通		2							1
	英語Ⅰ	1前・後	2			1	1				
	英語Ⅱ	2前・後	2			1	1				
	英語Ⅲ	2前・後		2		1	1				
	英語Ⅳ	3前		2		1	1				
	英会話	1前・後		2		1	1				
	フレッシャーズセミナーⅠ	1前	2			1					
	フレッシャーズセミナーⅡ	1前～後	2			3					2
	日本国憲法	1前		2							1
	体育	1前		2							1
	スポーツ医学Ⅰ	2前			2						3
	スポーツ医学Ⅱ	2前			2						2
	スポーツ社会経営学	4前			2						1
	コーチング論	3前			2						1
	競技者育成システム論	3後			1						1
	トレーニング科学Ⅰ	1前			2						1
	スポーツ栄養学Ⅰ	3前			1						1
	アスレティックトレーナーの役割	1前			2		1				
	小計（34科目）	－									
専門基礎科目	解剖学総論	1前	2								1
	解剖学演習Ⅰ	1前		2		2					
	解剖学演習Ⅱ	1前		2		2			1		
	解剖学演習Ⅲ	1後		2		2					
	生理学	1前	2			1					
	生理学演習	1後		1		1					
	運動学	2前	2			1		1			
	運動学演習(バイオメカニクス)	2後		1		1	2	1	1		
	人間発達学	1後	2			1					
	臨床心理学	3前	2								1
	内科学Ⅰ	2前	1								1
	内科学Ⅱ	2前	1								1
	臨床神経学	1後	1								1
	臨床神経学演習	2前		1							1

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
一般教育科目	安全学	3前		2		1					
	教育学	1前		2							1
	統計学	2後		2		1					
	情報科学	2前		2		1					
	情報処理	3前		2			1				
	物理学	1前		2		1					
	生物学	1前	2								1
	人間工学	1後		2			1				
	文化人類学	2前		2							1
	哲学	2前		2							1
	人間関係論	2後		2							1
	心理学	1後		2							1
	家族心理学	2前		2							1
	生命倫理	1後	2								1
	倫理学	1前	2								1
	社会福祉学	1前		2							3
	ボランティア論	1通		2							1
	英語Ⅰ	1前・後	2			1	1				
	英語Ⅱ	2前・後	2			1	1				
	英語Ⅲ	2前・後		2		1	1				
	英語Ⅳ	3前		2		1	1				
	英会話	1前・後		2		1	1				
	フレッシャーズセミナーⅠ	1前	2			1					
	フレッシャーズセミナーⅡ	1前～後	2			3					2
	日本国憲法	1前		2							1
	体育	1前		2							1
	スポーツ医学Ⅰ	2前			2						3
	スポーツ医学Ⅱ	2前			2						6
	スポーツ社会経営学	4前			2						1
	コーチング論	3前			2						1
	競技者育成システム論	3後			1						1
	トレーニング科学Ⅰ	1前			2						1
	スポーツ栄養学Ⅰ	3前			1						1
	アスレティックトレーナーの役割	1前			2		1				
	小計（34科目）	－									
専門基礎科目	解剖学総論	1前	2								1
	解剖学演習Ⅰ	1前		2		1					
	解剖学演習Ⅱ	1前		2		1					
	解剖学演習Ⅲ	1後		2		2					
	生理学	1前	2				1				
	生理学演習	1後		1			1				
	運動学	2前	2			1		1			
	運動学演習(バイオメカニクス)	2後		1		2	1	1	1		
	人間発達学	1後	2			1					
	臨床心理学	3前	2								1
	内科学Ⅰ	2前	1								1
	内科学Ⅱ	2前	1								1
	臨床神経学	1後	1			1					
	臨床神経学演習	2前		1		1					

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門基礎科目	整形外科学	1後	1								1
	スポーツ整形外科	1後		1							1
	精神医学	1後	1								1
	病理学	2前	1								1
	リハビリテーション医学診断学	2前	1								1
	リハビリテーション医学治療学	2前		1							1
	耳鼻咽喉科学	2前		1							1
	形成外科学	2後		1							1
	臨床歯科学	2前		1							1
	発声発語系医学	1後		1		1					
	神経系医学	1後		2							1
	聴覚系医学	1後		1							1
	リハビリテーション概論	1前	1			1					
	保健医療論	1前	1			1					
	チーム医療論	3前	1								1
	薬理学	2前		1							1
	環境と健康	1前		1							1
	ナラティブ概論	3前		1			1				
	社会保障制度	4前		1		1					1
	スポーツ心理学	4前		1							1
	スポーツ内科学	2通		1							1
	救急処置	1後		1			1				
	トレーニング科学Ⅱ	1後			1						1
	スポーツ栄養学Ⅱ	3後			1						1
	予防とコンディショニング	2後			3		1	1			
	アスレティックリハビリテーションⅠ	2前			1		1				
	アスレティックリハビリテーションⅡ	2後			1		1				
	現場実習Ⅰ（見学実習）	1前			1		1	1			
	現場実習Ⅱ（評価実習）	1後			1		1	1			
	現場実習Ⅲ（スポーツ現場実習）	2前			1		1	1			
	現場実習Ⅳ（アスレティックリハビリテーション実習）	2後			1		1	1			
	現場実習Ⅴ（総合実習）	3通			2		1	1			
	学習・認知心理学	3前		2							1
	心理測定法	2前		1							1
	言語学	1後		2		1	1				
	音声学	1前		2		1					
	音響学	1前		2				1			
	言語発達学	1後		1		1					
	小計（52科目）	－									

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門基礎科目	整形外科学	1後	1								1
	スポーツ整形外科	1後		1							1
	精神医学	1後	1								1
	病理学	2前	1								1
	リハビリテーション医学診断学	2前	1			1					
	リハビリテーション医学治療学	2前		1		1					
	臨床栄養学	**2前**		**1**							**2**
	耳鼻咽喉科学	2前		1							1
	形成外科学	2後		1							1
	臨床歯科学	2前		1							1
	発声発語系医学	1後		1		1					
	神経系医学	1後		2		**1**					
	聴覚系医学	1後		1							1
	リハビリテーション概論	1前	1			1					
	保健医療論	1前	1			1					
	チーム医療論	3前	1								1
	薬理学	2前		1							1
	環境と健康	1前		1							1
	ナラティブ概論	3前		1		**1**					
	社会保障制度	4前		1		1					1
	スポーツ心理学	4前		1							1
	スポーツ内科学	2通		1							1
	救急処置	1後		1			1				
	トレーニング科学Ⅱ	1後			1						1
	スポーツ栄養学Ⅱ	3後			1						1
	予防とコンディショニング	2後			3		1	1			
	アスレティックリハビリテーションⅠ	2前			1		1				
	アスレティックリハビリテーションⅡ	2後			1			**1**			
	現場実習Ⅰ（見学実習）	1前			1		1	**2**			
	現場実習Ⅱ（評価実習）	1後			1		1	**2**			
	現場実習Ⅲ（スポーツ現場実習）	2前			1		1	**2**			
	現場実習Ⅳ（アスレティックリハビリテーション実習）	2後			1		1	**2**			
	現場実習Ⅴ（総合実習）	3通			2		1	**2**			
	学習・認知心理学	3前		2							1
	心理測定法	2前		1							1
	言語学	1後		2		1	1				
	音声学	1前		2		1					
	音響学	1前		2			**1**				
	言語発達学	1後		1		1					
	小計（53科目）	－									

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目（理学療法学）	理学療法概論	1前		1		1					
	基礎理学療法学	1前		1		1					
	理学療法基礎理論	2後		1				1			
	運動発達学	2後		1					1		1
	研究方法論	3前		1		1					
	研究方法論演習	3後		1		5	1	2			
	理学療法研究	4通		3		5	1	2			
	基礎理学療法評価学	1後		1		1					
	神経系検査法	2前		2		1					
	運動器系検査法Ⅰ（関節可動域測定）	2前		2				1			
	運動器系検査法Ⅱ（筋力測定）	2前		2				1			
	運動・動作分析学	2前		1		5	1	2			
	基礎運動治療技術学	2前		1			1				
	運動器系理学療法学Ⅰ（骨折）	2後		1		1					
	運動器系理学療法学Ⅱ（スポーツ外傷）	2後		1			1				
	運動器系理学療法学Ⅲ（脊椎・関節障害）	2後		1				1			
	神経系理学療法学	3前		1		1					
	中枢神経系理学療法学Ⅰ（脳血管障害評価）	2後		1		1			1		
	中枢神経系理学療法学Ⅱ（脳血管障害治療）	3前		1		1			1		
	中枢神経系理学療法学Ⅲ（ﾊﾟｰｷﾝｿﾝ・失調症）	3前		1		1			1		
	発達障害系理学療法学	3前		1					1		1
	発達障害系理学療法学演習	4前		1					1		1
	内部障害系理学療法学	3前		2		1					2
	内部障害系理学療法学演習	4前		1		1			1		2
	理学療法評価治療演習	2後		2		5	1	2			
	物理療法学	3前		1		1					
	物理療法学演習	3前		1		1					
	日常生活活動評価学	2前		1		1					
	日常生活動作指導法	3前		1		1					
	義肢・装具学	3前		2		1					1
	義肢・装具学演習	4前		1		1			1		
	神経系理学療法治療技術	4前		1		1			1		
	運動器系治療技術Ⅰ（運動機能障害の評価と治療）	3前		1		1					

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目（理学療法学）	理学療法概論	1前		1		1					
	基礎理学療法学	1前		1		1					
	理学療法基礎理論	2後		1				1			
	運動発達学	2後		1					1		1
	研究方法論	3前		1		1					
	研究方法論演習	3後		1		5	1	4	3		
	理学療法研究	4通		3		5	1	4	3		
	基礎理学療法評価学	1後		1		1					
	神経系検査法	2前		2				1			
	運動器系検査法Ⅰ（関節可動域測定）	2前		2				1			
	運動器系検査法Ⅱ（筋力測定）	2前		2				1			
	運動・動作分析学	2前		1		5	1	4	3		
	基礎運動治療技術学	2前		1			1				
	運動器系理学療法学Ⅰ（骨折）	2後		1				1			
	運動器系理学療法学Ⅱ（スポーツ外傷）	2後		1			1				
	運動器系理学療法学Ⅲ（脊椎・関節障害）	2後		1				1			
	神経系理学療法学	3前		1		1					
	中枢神経系理学療法学Ⅰ（脳血管障害評価）	2後		1				2			
	中枢神経系理学療法学Ⅱ（脳血管障害治療）	3前		1				2			
	中枢神経系理学療法学Ⅲ（ﾊﾟｰｷﾝｿﾝ・失調症）	3前		1				2			
	発達障害系理学療法学	3前		1					1		1
	発達障害系理学療法学演習	4前		1					1		
	内部障害系理学療法学	3前		2		1					2
	内部障害系理学療法学演習	4前		1		1			1		2
	理学療法評価治療演習	2後		2		5	1	4	3		
	物理療法学	3前		1		1					
	物理療法学演習	3前		1		1					
	日常生活活動評価学	2前		1		1					
	日常生活動作指導法	3前		1		1					
	義肢・装具学	3前		2		1					1
	義肢・装具学演習	4前		1		1		1			
	神経系理学療法治療技術	4前		1		1		1			
	運動器系治療技術Ⅰ（運動機能障害の評価と治療）	3前		1		1					

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目（理学療法学）	運動器系治療技術Ⅱ（徒手的理学療法）	4前		1		1					
	地域理学療法学	3前		2		2					
	生活環境整備学	3前		2		1					
	臨床見学実習	1後		1		4	1	2	3		
	臨床評価実習	2後		3		5	1	2	3		
	臨床実習Ⅰ	3後		7		5	1	2	3		
	臨床実習Ⅱ	4前		7		5	1	2	3		
専門科目（作業療法学）	作業療法概論	1前		2			1				
	研究法	3前		2		1					
	研究法演習	3後		1		1	2	1	1		
	作業療法研究	4通		3		1	2	1	1		
	作業分析学	2前		2			1				
	作業技法（基礎）	2前		1					1		
	作業技法（編み物・陶芸）	2後		1					1		
	作業技法（革細工・籐細工）	2後		1				1			
	作業療法評価学	1前		2			1				
	身体機能評価演習Ⅰ	1後		2					1		
	身体機能評価演習Ⅱ	2前		2					1		
	心理社会機能評価演習Ⅰ	1後		2			1				
	心理社会機能評価演習Ⅱ	2前		2			1	1			
	作業治療学の基礎	4前		1			1				
	身体障害作業療法学	2後		1			1				
	身体障害作業療法学演習Ⅰ（脳血管障害・神経系疾患）	2後		2				1	1		
	身体障害作業療法学演習Ⅱ（脊髄損傷・リウマチ）	3前		1				1	1		
	身体障害作業療法学演習Ⅲ（骨折・切断・内部障害）	3前		1			1		1		
	精神障害作業療法学	2前		1			1				
	精神障害作業療法学演習Ⅰ（作業治療法）	2後		1			1				
	精神障害作業療法学演習Ⅱ（臨床関係論）	3前		1			1				
	発達障害作業療法学	2後		1					1		1
	発達障害作業療法学演習	3前		1					1		
	高次神経障害学	2後		1				1			
	老年期障害作業療法学	2前		1		1					
	老年期障害作業療法学演習	3前		1		1					

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目（理学療法学）	運動器系治療技術Ⅱ（徒手的理学療法）	4前		1		1					
	地域理学療法学	3前		2		2					
	生活環境整備学	3前		2		1					
	臨床見学実習Ⅰ	1後		1		4	1	**4**	**3**		
	臨床見学実習Ⅱ	**2後**		**1**		**4**	**1**	**4**	**3**		
	臨床評価実習	2後		3		5	1	**4**	**3**		
	臨床実習Ⅰ	3後		7		5	1	**4**	**3**		
	臨床実習Ⅱ	4前		**8**		5	1	**4**	**3**		
専門科目（作業療法学）	作業療法概論	1前		2		**1**					
	研究法	3前		2		1					
	研究法演習	3後		1		**2**		1	1		
	作業療法研究	4通		3		**2**		1	**4**		
	作業分析学	2前		2		**1**					
	作業技法（基礎）	2前		1					1		
	作業技法（編み物・陶芸）	2後		1					1		
	作業技法（革細工・籐細工）	2後		1					**1**		
	作業療法管理学	**1後**		**2**		**1**					
	作業療法評価学	1前		2		**1**					
	身体機能評価演習Ⅰ	1後		2					1		
	身体機能評価演習Ⅱ	2前		2					1		
	心理社会機能評価演習Ⅰ	1後		2					**1**		
	心理社会機能評価演習Ⅱ	2前		2				1	**1**		
	作業治療学の基礎	4前		1		**1**					
	身体障害作業療法学	2後		1		**1**					
	身体障害作業療法学演習Ⅰ（脳血管障害・神経系疾患）	2後		2				1	1		
	身体障害作業療法学演習Ⅱ（脊髄損傷・リウマチ）	3前		1				1	1		
	身体障害作業療法学演習Ⅲ（骨折・切断・内部障害）	3前		1		**1**			1		
	精神障害作業療法学	2前		1							
	精神障害作業療法学演習Ⅰ（作業治療法）	2後		1					**1**		
	精神障害作業療法学演習Ⅱ（臨床関係論）	3前		1					**1**		
	発達障害作業療法学	2後		1					1		1
	発達障害作業療法学演習	3前		1					1		
	高次神経障害学	2後		1				1			
	老年期障害作業療法学	2前		1		1					
	老年期障害作業療法学演習	3前		1		1					

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目（作業療法学）	日常生活活動	2前		1					1		
	日常生活活動演習	2後		1					1		
	作業療法演習	4後		2			1				
	作業療法評価実習	2後		2		1	2	1	2		
	作業療法治療実習Ⅰ	3前		2		1	2	1	2		
	作業療法治療実習Ⅱ	4前		1		1	2	1	2		
	作業療法特論（基礎）	4前		1			1				
	作業療法特論（身体障害）	4前		1				1			
	作業療法特論（精神障害）	4前		1			1				
	作業療法特論（発達障害）	4前		1					1		1
	作業療法特論（老年期障害）	4前		1		1					
	地域作業療法学	3前		2		1					
	地域作業療法学演習	3前		1		1					
	生活環境整備演習	3前		1		1					1
	臨床見学実習	1後		1		1	2	1	2		
	臨床評価実習	2後		3		1	2	1	2		
	臨床実習Ⅰ	3後		7		1	2	1	2		
	臨床実習Ⅱ	4前		7		1	2	1	2		
専門科目（言語聴覚学）	言語聴覚障害概論	1前		2		2	1	2			
	言語聴覚障害診断学演習	2後		1		2	1	2			
	言語聴覚研究方法論	3前		1		2	1	1			
	言語聴覚研究	4通		3		2	1	1			
	失語症学	2前		2			1				1
	高次脳機能障害学	2前		2			1				
	失語症評価演習	2通		2			1				1
	高次脳機能障害評価演習	2後		1			1				
	失語症治療学	3前		2			1				1
	高次脳機能障害治療学	3前		1			1				
	言語発達障害学	2後		2		1		1	1		
	言語発達障害評価演習	3前		1		1		1	1		
	言語発達障害治療学	3前		2		1		1	1		
	言語発達障害演習	4前		1		1		1	1		
	病理音声学	2前		2		1					
	発声発語障害治療学Ⅰ（小児）	2前		2		1		1			
	発声発語障害治療学Ⅱ（成人）	2後		2		1					
	発声発語障害治療学Ⅲ（音声・非流暢発話）	3前		4		1					2

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目（作業療法学）	日常生活活動	2前		1					1		
	日常生活活動演習	2後		1					1		
	作業療法演習	4後		2		1			3		
	作業療法評価実習	2後		2		2		1	5		
	作業療法治療実習Ⅰ	3前		2		2		1	5		
	作業療法治療実習Ⅱ	4前		1		2		1	5		
	作業療法特論（基礎）	4前		1		1					
	作業療法特論（身体障害）	4前		1				1			
	作業療法特論（精神障害）	4前		1							
	作業療法特論（発達障害）	4前		1					1		1
	作業療法特論（老年期障害）	4前		1		1					
	地域作業療法学	3前		2		1					
	地域作業療法学演習	3前		1		1					
	生活環境整備演習	3前		1		1					1
	臨床見学実習Ⅰ	1後		2		2		1	5		
	臨床見学実習Ⅱ	3後		1		2		1	5		
	臨床評価実習	2後		3		2		1	5		
	臨床実習Ⅰ	3後		8		2		1	5		
	臨床実習Ⅱ	4前		8		2		1	5		
専門科目（言語聴覚学）	言語聴覚障害概論	1前		2		2	1	2			
	言語聴覚障害診断学演習	2後		1		2	1	2	1		
	言語聴覚研究方法論	3前		1		2	1	1			
	言語聴覚研究	4通		3		2	1	1			
	失語症学	2前		2			1				1
	高次脳機能障害学	2前		2			1				
	失語症評価演習	2通		2			1		1		
	高次脳機能障害評価演習	2後		1			1		1		
	失語症治療学	3前		2			1				1
	高次脳機能障害治療学	3前		1			1				
	言語発達障害学	2後		2		1		1	1		
	言語発達障害評価演習	3前		1		1		1	1		
	言語発達障害治療学	3前		2		1		1	1		
	言語発達障害演習	4前		1		1		1	1		
	病理音声学	2前		2		1					
	発声発語障害治療学Ⅰ（小児）	2前		2		1		1			
	発声発語障害治療学Ⅱ（成人）	2後		2		1					
	発声発語障害治療学Ⅲ（音声・非流暢発話）	3前		4		1					2

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目（言語聴覚学）	摂食・嚥下障害学	2前		2		1					1
	発声発語・摂食嚥下評価演習	2後		1		1					
	摂食・嚥下障害治療学	3前		1		2		1			
	成人聴覚障害学	2前		2				1			
	聴覚障害評価演習	2後		1				1	1		
	小児聴覚障害学	3前		2				1			
	聴覚障害治療学	3前		1				1	1		
	聴覚補償学	4前		2				1	1		
	臨床見学実習	1後		1		2	1	2	1		
	臨床評価実習	2後		3		2	1	2	1		
	臨床実習Ⅰ	3後		5		2	1	2	1		
	臨床実習Ⅱ	4前		7		2	1	2	1		
	小計（114科目）	－									
選択必修科目（言語聴覚学）	カウンセリング	3前		1							
	言語聴覚検査演習Ⅰ（小児）	2前		1		1		1			
	言語聴覚検査演習Ⅱ（成人）	2後		1				1	1		
	言語聴覚評価演習	2後		1		2	1	2			
	地域参加支援演習Ⅰ（理論）	2後		1		2	1	2			
	地域参加支援演習Ⅱ（実践）	3前		1		2	1	2			
	地域参加論Ⅰ（理論）	4前		1		2	1	2			
	地域参加論Ⅱ（統合）	4後		1		2	1	2			
	言語聴覚臨床総論	4後		2		2	1	2			
	小計（9科目）	－									
合計（209科目）		－									

卒業要件及び履修方法

（理学療法学専攻）
理学療法士国家試験受験資格の取得
一般教育科目　24単位(必修14単位、選択10単位)
専門基礎科目　37単位(必修20単位、選択17単位)
専門科目　64単位(理学療法学選択64単位)
合計　125単位以上修得(必修34単位、選択91単位)

（作業療法学専攻）
作業療法士国家試験受験資格の取得
一般教育科目　24単位(必修14単位、選択10単位)
専門基礎科目　35単位(必修20単位、選択15単位)
専門科目　66単位(作業療法学選択66単位)
合計　125単位以上修得(必修34単位、選択91単位)

（言語聴覚学専攻）
言語聴覚士国家試験受験資格の取得
一般教育科目　24単位(必修14単位、選択10単位)
専門基礎科目　38単位(必修20単位、選択18単位)
専門科目　55単位(言語聴覚学選択55単位)
選択必修科目　8単位(言語聴覚学選択8単位)
合計　125単位以上修得(必修34単位、選択91単位)

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目（言語聴覚学）	摂食・嚥下障害学	2前		2		1					
	発声発語・摂食嚥下評価演習	2後		1		1			2		
	摂食・嚥下障害治療学	3前		1		2		1			
	成人聴覚障害学	2前		2				1			
	聴覚障害評価演習	2後		1				1	1		
	小児聴覚障害学	3前		2				1			
	聴覚障害治療学	3前		1				1	1		
	聴覚補償学	4前		2				1	1		
	臨床見学実習	1後		1		2	1	2	4		
	臨床評価実習	2後		3		2	1	2	4		
	臨床実習Ⅰ	3後		5		2	1	2	4		
	臨床実習Ⅱ	4前		7		2	1	2	4		
	小計（117科目）	－									
選択必修科目（言語聴覚学）	カウンセリング	3前		1							
	言語聴覚検査演習Ⅰ（小児）	2前		1		1		1			
	言語聴覚検査演習Ⅱ（成人）	2後		1				1	1		
	言語聴覚評価演習	2後		1		2	1	2	4		
	地域参加支援演習Ⅰ（理論）	2後		1		2	1	2	1		
	地域参加支援演習Ⅱ（実践）	3前		1		2	1	2	1		
	地域参加論Ⅰ（理論）	4前		1		2	1	2			
	地域参加論Ⅱ（統合）	4後		1		2	1	2			
	言語聴覚臨床総論	4後		2		2	1	2			
	小計（9科目）	－									
合計（213科目）		－									

卒業要件及び履修方法

（理学療法学専攻）
理学療法士国家試験受験資格の取得
一般教育科目　24単位(必修14単位、選択10単位)
専門基礎科目　38単位(必修20単位、選択18単位)
専門科目　66単位(理学療法学選択66単位)
合計　128単位以上修得(必修34単位、選択94単位)

（作業療法学専攻）
作業療法士国家試験受験資格の取得
一般教育科目　24単位(必修14単位、選択10単位)
専門基礎科目　35単位(必修20単位、選択15単位)
専門科目　72単位(作業療法学選択72単位)
合計　131単位以上修得(必修34単位、選択97単位)

（言語聴覚学専攻）
言語聴覚士国家試験受験資格の取得
一般教育科目　24単位(必修14単位、選択10単位)
専門基礎科目　38単位(必修20単位、選択18単位)
専門科目　55単位(言語聴覚学選択55単位)
選択必修科目　8単位(言語聴覚学選択8単位)
合計　125単位以上修得(必修34単位、選択91単位)

【平成２９年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
一般教育科目	安全学	3前		2		1					
	教育学	1前		2							1
	統計学	2後		2		1					
	情報科学	2前		2		1					
	情報処理	3前		2				1			
	物理学	1前		2		1					
	生物学	1前	2								1
	人間工学	1後		2				1			
	文化人類学	2前		2							1
	哲学	2前		2							1
	人間関係論	2後		2							1
	心理学	1後		2							1
	家族心理学	2前		2							1
	生命倫理	1後	2								1
	倫理学	1前	2								1
	社会福祉学	1前		2							3
	ボランティア論	1通		2							1
	英語Ⅰ	1前・後	2			1	1				
	英語Ⅱ	2前・後	2			1	1				
	英語Ⅲ	2前・後		2		1	1				
	英語Ⅳ	3前		2		1	1				
	英会話	1前・後		2		1	1				
	フレッシャーズセミナーⅠ	1前	2			1					
	フレッシャーズセミナーⅡ	1前～後	2			3					2
	日本国憲法	1前		2							1
	体育	1前		2							1
	スポーツ医学Ⅰ	2前			2						3
	スポーツ医学Ⅱ	2前			2						2
	スポーツ社会経営学	4前			2						1
	コーチング論	3前			2						1
	競技者育成システム論	3後			1						1
	トレーニング科学Ⅰ	1前			2						1
	スポーツ栄養学Ⅰ	3前			1						1
	アスレティックトレーナーの役割	1前			2		1				
	小計（34科目）	－									
専門基礎科目	解剖学総論	1前	2								1
	解剖学演習Ⅰ	1前		2		1					
	解剖学演習Ⅱ	1前		2		1					
	解剖学演習Ⅲ	1後		2		2					
	生理学	1前	2			1					
	生理学演習	1後		1		1					
	運動学	2前	2			1		1			
	運動学演習(バイオメカニクス)	2後		1		1	2	1	1		
	人間発達学	1後	2			1					
	臨床心理学	3前	2								1
	内科学Ⅰ	2前	1								1
	内科学Ⅱ	2前	1								1
	臨床神経学	1後	1								1
	臨床神経学演習	2前		1							1

【平成３０年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
一般教育科目	安全学	3前		2		1					
	教育学	1前		2							1
	統計学	2後		2		1					
	情報科学	2前		2		1					
	情報処理	3前		2				1			
	物理学	1前		2		1					
	生物学	1前	2								1
	人間工学	1後		2				1			
	文化人類学	2前		2							1
	哲学	2前		2							1
	人間関係論	2後		2							1
	心理学	1後		2							1
	家族心理学	2前		2							1
	生命倫理	1後	2								1
	倫理学	1前	2								1
	社会福祉学	1前		2							3
	ボランティア論	1通		2							1
	英語Ⅰ	1前・後	2			1	1				
	英語Ⅱ	2前・後	2			1	1				
	英語Ⅲ	2前・後		2		1	1				
	英語Ⅳ	3前		2		1	1				
	英会話	1前・後		2		1	1				
	フレッシャーズセミナーⅠ	1前	2			1					
	フレッシャーズセミナーⅡ	1前～後	2			3					2
	日本国憲法	1前		2							1
	体育	1前		2							1
	スポーツ医学Ⅰ	2前			2						3
	スポーツ医学Ⅱ	2前			2						2
	スポーツ社会経営学	4前			2						1
	コーチング論	3前			2						1
	競技者育成システム論	3後			1						1
	トレーニング科学Ⅰ	1前			2						1
	スポーツ栄養学Ⅰ	3前			1						1
	アスレティックトレーナーの役割	1前			2		1				
	小計（34科目）	－									
専門基礎科目	解剖学総論	1前	2								1
	解剖学演習Ⅰ	1前		2		1					
	解剖学演習Ⅱ	1前		2		1					
	解剖学演習Ⅲ	1後		2		2					
	生理学	1前	2			1					
	生理学演習	1後		1		1					
	運動学	2前	2			1		1			
	運動学演習(バイオメカニクス)	2後		1		1	2	1	1		
	人間発達学	1後	2			1					
	臨床心理学	3前	2								1
	内科学Ⅰ	2前	1								1
	内科学Ⅱ	2前	1								1
	臨床神経学	1後	1								1
	臨床神経学演習	2前		1							1

【平成２９年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	整形外科学	1後	1								1
	スポーツ整形外科	1後		1							1
	精神医学	1後	1								1
	病理学	2前	1								1
	リハビリテーション医学診断学	2前	1								1
	リハビリテーション医学治療学	2前		1							1
	耳鼻咽喉科学	2前		1							1
	形成外科学	2後		1							1
	臨床歯科学	2前		1							1
	発声発語系医学	1後		1		1					
	神経系医学	1後		2							1
	聴覚系医学	1後		1							1
	リハビリテーション概論	1前	1			1					
	保健医療論	1前	1			1					
	チーム医療論	3前	1								1
	薬理学	2前		1							1
	環境と健康	1前		1							1
	ナラティブ概論	3前		1			1				
	社会保障制度	4前		1		1					1
	スポーツ心理学	4前		1							1
	スポーツ内科学	2通		1							1
	救急処置	1後		1			1				
	トレーニング科学Ⅱ	1後			1						1
	スポーツ栄養学Ⅱ	3後			1						1
	予防とコンディショニング	2後			3		1	1			
	アスレティックリハビリテーションⅠ	2前			1		1				
	アスレティックリハビリテーションⅡ	2後			1		1				
	現場実習Ⅰ（見学実習）	1前			1		1	1			
	現場実習Ⅱ（評価実習）	1後			1		1	1			
	現場実習Ⅲ（スポーツ現場実習）	2前			1		1	1			
	現場実習Ⅳ（アスレティックリハビリテーション実習）	2後			1		1	1			
	現場実習Ⅴ（総合実習）	3通			2		1	1			
	学習・認知心理学	3前		2							1
	心理測定法	2前		1							1
	言語学	1後		2		1	1				
	音声学	1前		2		1					
	音響学	1前		2				1			
	言語発達学	1後		1		1					
	小計（52科目）	－									

【平成３０年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	整形外科学	1後	1								1
	スポーツ整形外科	1後		1							1
	精神医学	1後	1								1
	病理学	2前	1								1
	リハビリテーション医学診断学	2前	1								1
	リハビリテーション医学治療学	2前		1							1
	耳鼻咽喉科学	2前		1							1
	形成外科学	2後		1							1
	臨床歯科学	2前		1							1
	発声発語系医学	1後		1		1					
	神経系医学	1後		2							1
	聴覚系医学	1後		1							1
	リハビリテーション概論	1前	1			1					
	保健医療論	1前	1			1					
	チーム医療論	3前	1								1
	薬理学	2前		1							1
	環境と健康	1前		1							1
	ナラティブ概論	3前		1			1				
	社会保障制度	4前		1		1					1
	スポーツ心理学	4前		1							1
	スポーツ内科学	2通		1							1
	救急処置	1後		1			1				
	トレーニング科学Ⅱ	1後			1						1
	スポーツ栄養学Ⅱ	3後			1						1
	予防とコンディショニング	2後			3		1	1			
	アスレティックリハビリテーションⅠ	2前			1		1				
	アスレティックリハビリテーションⅡ	2後			1			1			
	現場実習Ⅰ（見学実習）	1前			1		1	2			
	現場実習Ⅱ（評価実習）	1後			1		1	2			
	現場実習Ⅲ（スポーツ現場実習）	2前			1		1	2			
	現場実習Ⅳ（アスレティックリハビリテーション実習）	2後			1		1	2			
	現場実習Ⅴ（総合実習）	3通			2		1	2			
	学習・認知心理学	3前		2							1
	心理測定法	2前		1							1
	言語学	1後		2		1	1				
	音声学	1前		2		1					
	音響学	1前		2				1			
	言語発達学	1後		1		1					
	小計（52科目）	－									

【平成２９年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目（理学療法学）	理学療法概論	1前		1		1					
	基礎理学療法学	1前		1		1					
	理学療法基礎理論	2後		1				1			
	運動発達学	2後		1					1		1
	研究方法論	3前		1		1					
	研究方法論演習	3後		1		5	1	2			
	理学療法研究	4通		3		5	1	2			
	基礎理学療法評価学	1後		1		1					
	神経系検査法	2前		2		1					
	運動器系検査法Ⅰ（関節可動域測定）	2前		2				1			
	運動器系検査法Ⅱ（筋力測定）	2前		2				1			
	運動・動作分析学	2前		1		5	1	2			
	基礎運動治療技術学	2前		1			1				
	運動器系理学療法学Ⅰ（骨折）	2後		1		1					
	運動器系理学療法学Ⅱ（スポーツ外傷）	2後		1			1				
	運動器系理学療法学Ⅲ（脊椎・関節障害）	2後		1				1			
	神経系理学療法学	3前		1		1					
	中枢神経系理学療法学Ⅰ（脳血管障害評価）	2後		1		1			1		
	中枢神経系理学療法学Ⅱ（脳血管障害治療）	3前		1		1			1		
	中枢神経系理学療法学Ⅲ（ﾊﾟｰｷﾝｿﾝ・失調症）	3前		1		1			1		
	発達障害系理学療法学	3前		1					1		1
	発達障害系理学療法学演習	4前		1					1		1
	内部障害系理学療法学	3前		2		1					2
	内部障害系理学療法学演習	4前		1		1			1		2
	理学療法評価治療演習	2後		2		5	1	2			
	物理療法学	3前		1		1					
	物理療法学演習	3前		1		1					
	日常生活活動評価学	2前		1		1					
	日常生活動作指導法	3前		1		1					
	義肢・装具学	3前		2		1					1
	義肢・装具学演習	4前		1		1			1		
	神経系理学療法治療技術	4前		1		1			1		
	運動器系治療技術Ⅰ（運動機能障害の評価と治療）	3前		1		1					

【平成３０年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目（理学療法学）	理学療法概論	1前		1		1					
	基礎理学療法学	1前		1		1					
	理学療法基礎理論	2後		1				1			
	運動発達学	2後		1					1		1
	研究方法論	3前		1		1					
	研究方法論演習	3後		1		5	1	4	2		
	理学療法研究	4通		3		5	1	4	2		
	基礎理学療法評価学	1後		1		1					
	神経系検査法	2前		2				1			
	運動器系検査法Ⅰ（関節可動域測定）	2前		2				1			
	運動器系検査法Ⅱ（筋力測定）	2前		2				1			
	運動・動作分析学	2前		1		5	1	4	2		
	基礎運動治療技術学	2前		1			1				
	運動器系理学療法学Ⅰ（骨折）	2後		1		1					
	運動器系理学療法学Ⅱ（スポーツ外傷）	2後		1			1				
	運動器系理学療法学Ⅲ（脊椎・関節障害）	2後		1				1			
	神経系理学療法学	3前		1		1					
	中枢神経系理学療法学Ⅰ（脳血管障害評価）	2後		1		1		1			
	中枢神経系理学療法学Ⅱ（脳血管障害治療）	3前		1		1		1			
	中枢神経系理学療法学Ⅲ（ﾊﾟｰｷﾝｿﾝ・失調症）	3前		1		1		1			
	発達障害系理学療法学	3前		1					1		1
	発達障害系理学療法学演習	4前		1					2		
	内部障害系理学療法学	3前		2		1					2
	内部障害系理学療法学演習	4前		1		1			1		2
	理学療法評価治療演習	2後		2		5	1	4	2		
	物理療法学	3前		1		1					
	物理療法学演習	3前		1		1					
	日常生活活動評価学	2前		1		1					
	日常生活動作指導法	3前		1		1					
	義肢・装具学	3前		2		1					1
	義肢・装具学演習	4前		1		1		1			
	神経系理学療法治療技術	4前		1		1		1			
	運動器系治療技術Ⅰ（運動機能障害の評価と治療）	3前		1		1					

【平成２９年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目（理学療法学）	運動器系治療技術Ⅱ（徒手的理学療法）	4前		1		1					
	地域理学療法学	3前		2		2					
	生活環境整備学	3前		2		1					
	臨床見学実習	1後		1		4	1	2	3		
	臨床評価実習	2後		3		5	1	2	3		
	臨床実習Ⅰ	3後		7		5	1	2	3		
	臨床実習Ⅱ	4前		7		5	1	2	3		
専門科目（作業療法学）	作業療法概論	1前		2			1				
	研究法	3前		2		1					
	研究法演習	3後		1		1	2	1	1		
	作業療法研究	4通		3		1	2	1	1		
	作業分析学	2前		2			1				
	作業技法（基礎）	2前		1					1		
	作業技法（編み物・陶芸）	2後		1					1		
	作業技法（革細工・籐細工）	2後		1				1			
	作業療法評価学	1前		2			1				
	身体機能評価演習Ⅰ	1後		2					1		
	身体機能評価演習Ⅱ	2前		2					1		
	心理社会機能評価演習Ⅰ	1後		2			1				
	心理社会機能評価演習Ⅱ	2前		2			1	1			
	作業治療学の基礎	4前		1			1				
	身体障害作業療法学	2後		1			1				
	身体障害作業療法学演習Ⅰ（脳血管障害・神経系疾患）	2後		2				1	1		
	身体障害作業療法学演習Ⅱ（脊髄損傷・リウマチ）	3前		1				1	1		
	身体障害作業療法学演習Ⅲ（骨折・切断・内部障害）	3前		1			1		1		
	精神障害作業療法学	2前		1			1				
	精神障害作業療法学演習Ⅰ（作業治療法）	2後		1			1				
	精神障害作業療法学演習Ⅱ（臨床関係論）	3前		1			1				
	発達障害作業療法学	2後		1					1		1
	発達障害作業療法学演習	3前		1					1		
	高次神経障害学	2後		1				1			
	老年期障害作業療法学	2前		1		1					
	老年期障害作業療法学演習	3前		1		1					

【平成３０年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目（理学療法学）	運動器系治療技術Ⅱ（徒手的理学療法）	4前		1		1					
	地域理学療法学	3前		2		2					
	生活環境整備学	3前		2		1					
	臨床見学実習	1後		1		4	1	4	4		
	臨床評価実習	2後		3		5	1	4	4		
	臨床実習Ⅰ	3後		7		5	1	4	4		
	臨床実習Ⅱ	4前		7		5	1	4	4		
専門科目（作業療法学）	作業療法概論	1前		2			1				
	研究法	3前		2		1					
	研究法演習	3後		1		1	2	1	1		
	作業療法研究	4通		3		1	2	1	1		
	作業分析学	2前		2			1				
	作業技法（基礎）	2前		1					1		
	作業技法（編み物・陶芸）	2後		1					1		
	作業技法（革細工・籐細工）	2後		1				1			
	作業療法評価学	1前		2			1				
	身体機能評価演習Ⅰ	1後		2					1		
	身体機能評価演習Ⅱ	2前		2					1		
	心理社会機能評価演習Ⅰ	1後		2					1		
	心理社会機能評価演習Ⅱ	2前		2			1	1			
	作業治療学の基礎	4前		1			1				
	身体障害作業療法学	2後		1			1				
	身体障害作業療法学演習Ⅰ（脳血管障害・神経系疾患）	2後		2				1	1		
	身体障害作業療法学演習Ⅱ（脊髄損傷・リウマチ）	3前		1				1	1		
	身体障害作業療法学演習Ⅲ（骨折・切断・内部障害）	3前		1			1		1		
	精神障害作業療法学	2前		1			1				
	精神障害作業療法学演習Ⅰ（作業治療法）	2後		1			1				
	精神障害作業療法学演習Ⅱ（臨床関係論）	3前		1			1				
	発達障害作業療法学	2後		1					1		1
	発達障害作業療法学演習	3前		1					1		
	高次神経障害学	2後		1				1			
	老年期障害作業療法学	2前		1		1					
	老年期障害作業療法学演習	3前		1		1					

【平成２９年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目（作業療法学）	日常生活活動	2前		1					1		
	日常生活活動演習	2後		1					1		
	作業療法演習	4後		2			1				
	作業療法評価実習	2後		2		1	2	1	2		
	作業療法治療実習Ⅰ	3前		2		1	2	1	2		
	作業療法治療実習Ⅱ	4前		1		1	2	1	2		
	作業療法特論（基礎）	4前		1			1				
	作業療法特論（身体障害）	4前		1				1			
	作業療法特論（精神障害）	4前		1			1				
	作業療法特論（発達障害）	4前		1					1		1
	作業療法特論（老年期障害）	4前		1		1					
	地域作業療法学	3前		2		1					
	地域作業療法学演習	3前		1		1					
	生活環境整備演習	3前		1		1					1
	臨床見学実習	1後		1		1	2	1	2		
	臨床評価実習	2後		3		1	2	1	2		
	臨床実習Ⅰ	3後		7		1	2	1	2		
	臨床実習Ⅱ	4前		7		1	2	1	2		
専門科目（言語聴覚学）	言語聴覚障害概論	1前		2		2	1	2			
	言語聴覚障害診断学演習	2後		1		2	1	2			
	言語聴覚研究方法論	3前		1		2	1	1			
	言語聴覚研究	4通		3		2	1	1			
	失語症学	2前		2			1				1
	高次脳機能障害学	2前		2			1				
	失語症評価演習	2通		2			1				1
	高次脳機能障害評価演習	2後		1			1				
	失語症治療学	3前		2			1				1
	高次脳機能障害治療学	3前		1			1				
	言語発達障害学	2後		2		1		1	1		
	言語発達障害評価演習	3前		1		1		1	1		
	言語発達障害治療学	3前		2		1		1	1		
	言語発達障害演習	4前		1		1		1	1		
	病理音声学	2前		2		1					
	発声発語障害治療学Ⅰ（小児）	2前		2		1		1			
	発声発語障害治療学Ⅱ（成人）	2後		2		1					
	発声発語障害治療学Ⅲ（音声・非流暢発話）	3前		4		1					2

【平成３０年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目（作業療法学）	日常生活活動	2前		1					1		
	日常生活活動演習	2後		1					1		
	作業療法演習	4後		2			1		2		
	作業療法評価実習	2後		2		1	2	1	4		
	作業療法治療実習Ⅰ	3前		2		1	2	1	4		
	作業療法治療実習Ⅱ	4前		1		1	2	1	4		
	作業療法特論（基礎）	4前		1			1				
	作業療法特論（身体障害）	4前		1				1			
	作業療法特論（精神障害）	4前		1			1				
	作業療法特論（発達障害）	4前		1					1		1
	作業療法特論（老年期障害）	4前		1		1					
	地域作業療法学	3前		2		1					
	地域作業療法学演習	3前		1		1					
	生活環境整備演習	3前		1		1					1
	臨床見学実習	1後		1		1	2	1	4		
	臨床評価実習	2後		3		1	2	1	4		
	臨床実習Ⅰ	3後		7		1	2	1	4		
	臨床実習Ⅱ	4前		7		1	2	1	4		
専門科目（言語聴覚学）	言語聴覚障害概論	1前		2		2	1	2			
	言語聴覚障害診断学演習	2後		1		2	1	2			
	言語聴覚研究方法論	3前		1		2	1	1			
	言語聴覚研究	4通		3		2	1	1			
	失語症学	2前		2			1				1
	高次脳機能障害学	2前		2			1				
	失語症評価演習	2通		2			1				1
	高次脳機能障害評価演習	2後		1			1				
	失語症治療学	3前		2			1				1
	高次脳機能障害治療学	3前		1			1				
	言語発達障害学	2後		2		1		1	1		
	言語発達障害評価演習	3前		1		1		1	1		
	言語発達障害治療学	3前		2		1		1	1		
	言語発達障害演習	4前		1		1		1	1		
	病理音声学	2前		2		1					
	発声発語障害治療学Ⅰ（小児）	2前		2		1		1			
	発声発語障害治療学Ⅱ（成人）	2後		2		1					
	発声発語障害治療学Ⅲ（音声・非流暢発話）	3前		4		1					2

【平成２９年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目（言語聴覚学）	摂食・嚥下障害学	2前		2		1					1
	発声発語・摂食嚥下評価演習	2後		1		1					
	摂食・嚥下障害治療学	3前		1		2		1			
	成人聴覚障害学	2前		2				1			
	聴覚障害評価演習	2後		1				1	1		
	小児聴覚障害学	3前		2				1			
	聴覚障害治療学	3前		1				1	1		
	聴覚補償学	4前		2				1	1		
	臨床見学実習	1後		1		2	1	2	1		
	臨床評価実習	2後		3		2	1	2	1		
	臨床実習Ⅰ	3後		5		2	1	2	1		
	臨床実習Ⅱ	4前		7		2	1	2	1		
	小計（114科目）	－									
選択必修科目（言語聴覚学）	カウンセリング	3前		1							
	言語聴覚検査演習Ⅰ（小児）	2前		1		1		1			
	言語聴覚検査演習Ⅱ（成人）	2後		1				1	1		
	言語聴覚評価演習	2後		1		2	1	2			
	地域参加支援演習Ⅰ（理論）	2後		1		2	1	2			
	地域参加支援演習Ⅱ（実践）	3前		1		2	1	2			
	地域参加論Ⅰ（理論）	4前		1		2	1	2			
	地域参加論Ⅱ（統合）	4後		1		2	1	2			
	言語聴覚臨床総論	4後		2		2	1	2			
	小計（9科目）	－									
合計（209科目）		－									

卒業要件及び履修方法

（理学療法学専攻）
理学療法士国家試験受験資格の取得
一般教育科目　24単位(必修14単位、選択10単位)
専門基礎科目　37単位(必修20単位、選択17単位)
専門科目　64単位(理学療法学選択64単位)
合計　125単位以上修得(必修34単位、選択91単位)

（作業療法学専攻）
作業療法士国家試験受験資格の取得
一般教育科目　24単位(必修14単位、選択10単位)
専門基礎科目　35単位(必修20単位、選択15単位)
専門科目　66単位(作業療法学選択66単位)
合計　125単位以上修得(必修34単位、選択91単位)

（言語聴覚学専攻）
言語聴覚士国家試験受験資格の取得
一般教育科目　24単位(必修14単位、選択10単位)
専門基礎科目　38単位(必修20単位、選択18単位)
専門科目　55単位(言語聴覚学選択55単位)
選択必修科目　8単位(言語聴覚学選択8単位)
合計　125単位以上修得(必修34単位、選択91単位)

【平成３０年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目（言語聴覚学）	摂食・嚥下障害学	2前		2		1					1
	発声発語・摂食嚥下評価演習	2後		1		1					
	摂食・嚥下障害治療学	3前		1		2		1			
	成人聴覚障害学	2前		2				1			
	聴覚障害評価演習	2後		1				1	1		
	小児聴覚障害学	3前		2				1			
	聴覚障害治療学	3前		1				1	1		
	聴覚補償学	4前		2				1	1		
	臨床見学実習	1後		1		2	1	2	1		
	臨床評価実習	2後		3		2	1	2	1		
	臨床実習Ⅰ	3後		5		2	1	2	1		
	臨床実習Ⅱ	4前		7		2	1	2	1		
	小計（114科目）	－									
選択必修科目（言語聴覚学）	カウンセリング	3前		1							
	言語聴覚検査演習Ⅰ（小児）	2前		1		1		1			
	言語聴覚検査演習Ⅱ（成人）	2後		1				1	1		
	言語聴覚評価演習	2後		1		2	1	2			
	地域参加支援演習Ⅰ（理論）	2後		1		2	1	2			
	地域参加支援演習Ⅱ（実践）	3前		1		2	1	2			
	地域参加論Ⅰ（理論）	4前		1		2	1	2			
	地域参加論Ⅱ（統合）	4後		1		2	1	2			
	言語聴覚臨床総論	4後		2		2	1	2			
	小計（9科目）	－									
合計（209科目）		－									

卒業要件及び履修方法

（理学療法学専攻）
理学療法士国家試験受験資格の取得
一般教育科目　24単位(必修14単位、選択10単位)
専門基礎科目　37単位(必修20単位、選択17単位)
専門科目　64単位(理学療法学選択64単位)
合計　125単位以上修得(必修34単位、選択91単位)

（作業療法学専攻）
作業療法士国家試験受験資格の取得
一般教育科目　24単位(必修14単位、選択10単位)
専門基礎科目　35単位(必修20単位、選択15単位)
専門科目　66単位(作業療法学選択66単位)
合計　125単位以上修得(必修34単位、選択91単位)

（言語聴覚学専攻）
言語聴覚士国家試験受験資格の取得
一般教育科目　24単位(必修14単位、選択10単位)
専門基礎科目　38単位(必修20単位、選択18単位)
専門科目　55単位(言語聴覚学選択55単位)
選択必修科目　8単位(言語聴覚学選択8単位)
合計　125単位以上修得(必修34単位、選択91単位)

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般教育科目	安全学	3前		2		1					
	教育学	1前		2							1
	統計学	2後		2		1					
	情報科学	2前		2		1					
	情報処理	3前		2				1			
	物理学	1前		2		1					
	生物学	1前	2								1
	人間工学	1後		2				1			
	文化人類学	2前		2							1
	哲学	2前		2							1
	人間関係論	2後		2							1
	心理学	1後		2							1
	家族心理学	2前		2							1
	生命倫理	1後	2								1
	倫理学	1前	2								1
	社会福祉学	1前		2							3
	ボランティア論	1通		2							1
	英語Ⅰ	1前・後	2			1	1				
	英語Ⅱ	2前・後	2			1	1				
	英語Ⅲ	2前・後		2		1	1				
	英語Ⅳ	3前		2		1	1				
	英会話	1前・後		2		1	1				
	フレッシャーズセミナーⅠ	1前	2			1					
	フレッシャーズセミナーⅡ	1前～後	2			3					2
	日本国憲法	1前		2							1
	体育	1前		2							1
	スポーツ医学Ⅰ	2前			2						4
	スポーツ医学Ⅱ	2前			2						6
	スポーツ社会経営学	4前			2						1
	コーチング論	3前			2						1
	競技者育成システム論	3後			1						1
	トレーニング科学Ⅰ	1前			2						1
	スポーツ栄養学Ⅰ	3前			1						1
	アスレティックトレーナーの役割	1前			2		1				
	小計(34科目)	－									
専門基礎科目	解剖学総論	1前	2								1
	解剖学演習Ⅰ	1前		2		1					
	解剖学演習Ⅱ	1前		2		1					
	解剖学演習Ⅲ	1後		2		2					
	生理学	1前	2			1					
	生理学演習	1後		1		1					
	運動学	2前	2			1		1			
	運動学演習(バイオメカニクス)	2後		1		1	2	1	1		
	人間発達学	1後	2			1					
	臨床心理学	3前	2								1
	内科学Ⅰ	2前	1								1
	内科学Ⅱ	2前	1								1
	臨床神経学	1後	1			1					
	臨床神経学演習	2前		1		1					

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	整形外科学	1後	1								1
	スポーツ整形外科	1後		1							1
	精神医学	1後	1								1
	病理学	2前	1								1
	リハビリテーション医学診断学	2前	1			1					
	リハビリテーション医学治療学	2前		1		1					
	耳鼻咽喉科学	2前		1							1
	形成外科学	2後		1							1
	臨床歯科学	2前		1							1
	発声発語系医学	1後		1		1					
	神経系医学	1後		2		1					
	聴覚系医学	1後		1							1
	リハビリテーション概論	1前	1			1					
	保健医療論	1前	1			1					
	チーム医療論	3前	1								1
	薬理学	2前		1							1
	環境と健康	1前		1							1
	ナラティブ概論	3前		1			1				
	社会保障制度	4前		1		1					1
	スポーツ心理学	4前		1							1
	スポーツ内科学	2通		1							1
	救急処置	1後		1			1				
	トレーニング科学Ⅱ	1後			1						1
	スポーツ栄養学Ⅱ	3後			1						1
	予防とコンディショニング	2後			3		1	1			
	アスレティックリハビリテーションⅠ	2前			1		1				
	アスレティックリハビリテーションⅡ	2後			1			1			
	現場実習Ⅰ（見学実習）	1前			1		1	2			
	現場実習Ⅱ（評価実習）	1後			1		1	2			
	現場実習Ⅲ（スポーツ現場実習）	2前			1		1	2			
	現場実習Ⅳ（アスレティックリハビリテーション実習）	2後			1		1	2			
	現場実習Ⅴ（総合実習）	3通			2		1	2			
	学習・認知心理学	3前		2							1
	心理測定法	2前		1							1
	言語学	1後		2		1	1				
	音声学	1前		2		1					
	音響学	1前		2				1			
	言語発達学	1後		1		1					
	小計（52科目）	－									

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目（理学療法学）	理学療法概論	1前		1		1					
	基礎理学療法学	1前		1		1					
	理学療法基礎理論	2後		1				1			
	運動発達学	2後		1					1		1
	研究方法論	3前		1		1					
	研究方法論演習	3後		1		5	1	4	3		
	理学療法研究	4通		3		5	1	4	3		
	基礎理学療法評価学	1後		1		1					
	神経系検査法	2前		2				1			
	運動器系検査法Ⅰ（関節可動域測定）	2前		2				1			
	運動器系検査法Ⅱ（筋力測定）	2前		2				1			
	運動・動作分析学	2前		1		5	1	4	3		
	基礎運動治療技術学	2前		1			1				
	運動器系理学療法学Ⅰ（骨折）	2後		1				1			
	運動器系理学療法学Ⅱ（スポーツ外傷）	2後		1			1				
	運動器系理学療法学Ⅲ（脊椎・関節障害）	2後		1				1			
	神経系理学療法学	3前		1		1					
	中枢神経系理学療法学Ⅰ（脳血管障害評価）	2後		1				2			
	中枢神経系理学療法学Ⅱ（脳血管障害治療）	3前		1				2			
	中枢神経系理学療法学Ⅲ（ﾊﾟｰｷﾝｿﾝ・失調症）	3前		1				2			
	発達障害系理学療法学	3前		1					1		1
	発達障害系理学療法学演習	4前		1					1		
	内部障害系理学療法学	3前		2		1					2
	内部障害系理学療法学演習	4前		1		1			1		2
	理学療法評価治療演習	2後		2		5	1	4	3		
	物理療法学	3前		1		1					
	物理療法学演習	3前		1		1					
	日常生活活動評価学	2前		1		1					
	日常生活動作指導法	3前		1		1					
	義肢・装具学	3前		2		1					1
	義肢・装具学演習	4前		1		1		1			
	神経系理学療法治療技術	4前		1		1		1			
	運動器系治療技術Ⅰ（運動機能障害の評価と治療）	3前		1		1					

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目（理学療法学）	運動器系治療技術Ⅱ（徒手的理学療法）	4前		1		1					
	地域理学療法学	3前		2		2					
	生活環境整備学	3前		2		1					
	臨床見学実習	1後		1		4	1	4	3		
	臨床評価実習	2後		3		5	1	4	3		
	臨床実習Ⅰ	3後		7		5	1	4	3		
	臨床実習Ⅱ	4前		7		5	1	4	3		
専門科目（作業療法学）	作業療法概論	1前		2			1				
	研究法	3前		2		1					
	研究法演習	3後		1		1	2	1	1		
	作業療法研究	4通		3		1	2	1	4		
	作業分析学	2前		2			1				
	作業技法（基礎）	2前		1					1		
	作業技法（編み物・陶芸）	2後		1					1		
	作業技法（革細工・籐細工）	2後		1					1		
	作業療法評価学	1前		2			1				
	身体機能評価演習Ⅰ	1後		2					1		
	身体機能評価演習Ⅱ	2前		2					1		
	心理社会機能評価演習Ⅰ	1後		2			1				
	心理社会機能評価演習Ⅱ	2前		2				1	1		
	作業治療学の基礎	4前		1			1				
	身体障害作業療法学	2後		1			1				
	身体障害作業療法学演習Ⅰ（脳血管障害・神経系疾患）	2後		2				1	1		
	身体障害作業療法学演習Ⅱ（脊髄損傷・リウマチ）	3前		1				1	1		
	身体障害作業療法学演習Ⅲ（骨折・切断・内部障害）	3前		1			1		1		
	精神障害作業療法学	2前		1			1				
	精神障害作業療法学演習Ⅰ（作業治療法）	2後		1					1		
	精神障害作業療法学演習Ⅱ（臨床関係論）	3前		1			1				
	発達障害作業療法学	2後		1					1		1
	発達障害作業療法学演習	3前		1					1		
	高次神経障害学	2後		1				1			
	老年期障害作業療法学	2前		1		1					
	老年期障害作業療法学演習	3前		1		1					

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目（作業療法学）	日常生活活動	2前		1					1		
	日常生活活動演習	2後		1					1		
	作業療法演習	4後		2			1		3		
	作業療法評価実習	2後		2		1	2	1	5		
	作業療法治療実習Ⅰ	3前		2		1	2	1	5		
	作業療法治療実習Ⅱ	4前		1		1	2	1	5		
	作業療法特論（基礎）	4前		1			1				
	作業療法特論（身体障害）	4前		1				1			
	作業療法特論（精神障害）	4前		1			1				
	作業療法特論（発達障害）	4前		1					1		1
	作業療法特論（老年期障害）	4前		1		1					
	地域作業療法学	3前		2		1					
	地域作業療法学演習	3前		1		1					
	生活環境整備演習	3前		1		1					1
	臨床見学実習	1後		1		1	2	1	5		
	臨床評価実習	2後		3		1	2	1	5		
	臨床実習Ⅰ	3後		7		1	2	1	5		
	臨床実習Ⅱ	4前		7		1	2	1	5		
専門科目（言語聴覚学）	言語聴覚障害概論	1前		2		2	1	2			
	言語聴覚障害診断学演習	2後		1		2	1	2		1	
	言語聴覚研究方法論	3前		1		2	1	1			
	言語聴覚研究	4通		3		2	1	1			
	失語症学	2前		2			1				1
	高次脳機能障害学	2前		2			1				
	失語症評価演習	2通		2			1		1		
	高次脳機能障害評価演習	2後		1			1		1		
	失語症治療学	3前		2			1				1
	高次脳機能障害治療学	3前		1			1				
	言語発達障害学	2後		2		1		1	1		
	言語発達障害評価演習	3前		1		1		1	1		
	言語発達障害治療学	3前		2		1		1	1		
	言語発達障害演習	4前		1		1		1	1		
	病理音声学	2前		2		1					
	発声発語障害治療学Ⅰ（小児）	2前		2		1		1			
	発声発語障害治療学Ⅱ（成人）	2後		2		1					
	発声発語障害治療学Ⅲ（音声・非流暢発話）	3前		4		1					2

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目（言語聴覚学）	摂食・嚥下障害学	2前		2		1					
	発声発語・摂食嚥下評価演習	2後		1		1			1	1	
	摂食・嚥下障害治療学	3前		1		2		1			
	成人聴覚障害学	2前		2				1			
	聴覚障害評価演習	2後		1				1	1		
	小児聴覚障害学	3前		2				1			
	聴覚障害治療学	3前		1				1	1		
	聴覚補償学	4前		2				1	1		
	臨床見学実習	1後		1		2	1	2	3	1	
	臨床評価実習	2後		3		2	1	2	3	1	
	臨床実習Ⅰ	3後		5		2	1	2	3	1	
	臨床実習Ⅱ	4前		7		2	1	2	3	1	
	小計（114科目）	－									
選択必修科目（言語聴覚学）	カウンセリング	3前		1							
	言語聴覚検査演習Ⅰ（小児）	2前		1		1		1			
	言語聴覚検査演習Ⅱ（成人）	2後		1				1	1		
	言語聴覚評価演習	2後		1		2	1	2	3	1	
	地域参加支援演習Ⅰ（理論）	2後		1		2	1	2		1	
	地域参加支援演習Ⅱ（実践）	3前		1		2	1	2		1	
	地域参加論Ⅰ（理論）	4前		1		2	1	2			
	地域参加論Ⅱ（統合）	4後		1		2	1	2			
	言語聴覚臨床総論	4後		2		2	1	2			
	小計（9科目）	－									
合計（209科目）		－									

卒業要件及び履修方法

（理学療法学専攻）
理学療法士国家試験受験資格の取得
一般教育科目　24単位(必修14単位、選択10単位)
専門基礎科目　37単位(必修20単位、選択17単位)
専門科目　　64単位(理学療法学選択64単位)
合計　　125単位以上修得(必修34単位、選択91単位)

（作業療法学専攻）
作業療法士国家試験受験資格の取得
一般教育科目　24単位(必修14単位、選択10単位)
専門基礎科目　35単位(必修20単位、選択15単位)
専門科目　　66単位(作業療法学選択66単位)
合計　　125単位以上修得(必修34単位、選択91単位)

（言語聴覚学専攻）
言語聴覚士国家試験受験資格の取得
一般教育科目　24単位(必修14単位、選択10単位)
専門基礎科目　38単位(必修20単位、選択18単位)
専門科目　　55単位(言語聴覚学選択55単位)
選択必修科目　8単位(言語聴覚学選択8単位)
合計　　125単位以上修得(必修34単位、選択91単位)

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・　専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【平成２９年度】

科目担当教員選抜の理由のより、「解剖学演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授１」に変更。
科目担当教員選抜の理由のより、「解剖学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授１」、「助教１」から「助教０」に変更。

【平成３０年度】

・新採用の理由により、「アスレティックリハビリテーションⅡ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授０」、「講師０」から「講師１」に変更。
・新採用の理由により、「現場実習Ⅰ（見学実習）」の専任教員等の配置を「講師１」から「講師２」に変更。
・新採用の理由により、「現場実習Ⅱ（評価実習）」の専任教員等の配置を「講師１」から「講師２」に変更。
・新採用の理由により、「現場実習Ⅲ（スポーツ現場実習）」の専任教員等の配置を「講師１」から「講師２」に変更。
・新採用の理由により、「現場実習Ⅳ（アスレティックリハビリテーション実習）」の専任教員等の配置を「講師１」から「講師２」に変更。
・新採用の理由により、「現場実習Ⅴ（総合実習）」の専任教員等の配置を「講師１」から「講師２」に変更。

【専門科目（理学療法学）】
・新採用、職位変更（審査済）の理由により、「研究方法論演習」の専任教員等の配置を「講師２」から「講師４」、「助教０」から「助教２」に変更。
・新採用、職位変更（審査済）の理由により、「理学療法研究」の専任教員等の配置を「講師２」から「講師４」、「助教０」から「助教２」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「神経系検査法」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授０」、「講師０」から「講師１」に変更。
・新採用、職位変更（審査済）の理由により、「運動・動作分析学」の専任教員等の配置を「講師２」から「講師４」、「助教０」から「助教２」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「中枢神経系理学療法学Ⅰ（脳血管障害評価）」の専任教員等の配置を「講師０」から「講師１」、「助教１」から「助教０」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「中枢神経系理学療法学Ⅱ（脳血管障害治療）」の専任教員等の配置を「講師０」から「講師１」、「助教１」から「助教０」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「中枢神経系理学療法学Ⅲ（ﾊﾟｰｷﾝｿﾝ・失調症）」の専任教員等の配置を「講師０」から「講師１」、「助教１」から「助教０」に変更。
・新採用の理由により、「発達障害系理学療法学演習」の専任教員等の配置を「助教１」から「助教２」、「兼任１」から「兼任０」に変更。
・新採用、職位変更（審査済）の理由により、「理学療法評価治療演習」の専任教員等の配置を「講師２」から「講師４」、「助教０」から「助教２」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「義肢・装具学演習」の専任教員等の配置を「講師０」から「講師１」、「助教１」から「助教０」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「神経系理学療法治療技術」の専任教員等の配置を「講師０」から「講師１」、「助教１」から「助教０」に変更。
・新採用、職位変更（審査済）の理由により、「臨床見学実習」の専任教員等の配置を「講師２」から「講師４」、「助教３」から「助教４」に変更。
・新採用、職位変更（審査済）の理由により、「臨床評価実習」の専任教員等の配置を「講師２」から「講師４」、「助教３」から「助教４」に変更。
・新採用、職位変更（審査済）の理由により、「臨床実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師２」から「講師４」、「助教３」から「助教４」に変更。
・新採用、職位変更（審査済）の理由により、「臨床実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師２」から「講師４」、「助教３」から「助教４」に変更。

【専門科目（作業療法学）】
・新採用の理由により、「心理社会機能評価演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授０」、「助教０」から「助教１」に変更。
・新採用の理由により、「作業療法演習」の専任教員等の配置を「助教０」から「助教２」に変更。
・新採用の理由により、「作業療法評価実習」の専任教員等の配置を「助教２」から「助教４」に変更。
・新採用の理由により、「作業療法治療実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教２」から「助教４」に変更。
・新採用の理由により、「作業療法治療実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教２」から「助教４」に変更。
・新採用の理由により、「作業療法治療実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教２」から「助教４」に変更。
・新採用の理由により、「作業療法治療実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教２」から「助教４」に変更。
・新採用の理由により、「臨床見学実習」の専任教員等の配置を「助教２」から「助教４」に変更。
・新採用の理由により、「臨床評価実習」の専任教員等の配置を「助教２」から「助教４」に変更。
・新採用の理由により、「臨床実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教２」から「助教４」に変更。
・新採用の理由により、「臨床実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教２」から「助教４」に変更。

【令和元年度】

・新採用の理由により、「臨床神経学」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「兼任１」から「兼任０」に変更。
・新採用の理由により、「臨床神経学演習」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「兼任１」から「兼任０」に変更。
・新採用の理由により、「リハビリテーション医学診断学」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「兼任１」から「兼任０」に変更。
・新採用の理由により、「リハビリテーション医学治療学」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「兼任１」から「兼任０」に変更。
・新採用の理由により、「神経系医学」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「兼任１」から「兼任０」に変更。

【専門科目（理学療法学）】
・科目適合（審査済）の理由により、「研究方法論演習」の専任教員等の配置を「助教２」から「助教３」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「理学療法研究」の専任教員等の配置を「助教２」から「助教３」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「運動・動作分析学」の専任教員等の配置を「助教２」から「助教３」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「運動器系理学療法学Ⅰ（骨折）」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授０」、「講師０」から「講師１」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「中枢神経系理学療法学Ⅰ（脳血管障害評価）」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授０」、「講師１」から「講師２」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「中枢神経系理学療法学Ⅱ（脳血管障害治療）」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授０」、「講師１」から「講師２」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「中枢神経系理学療法学Ⅲ（ﾊﾟｰｷﾝｿﾝ・失調症）」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授０」、「講師１」から「講師２」に変更。
・退職の理由により、「発達障害系理学療法学演習」の専任教員等を「助教２」から「助教１」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「理学療法評価治療演習」の専任教員等の配置を「助教２」から「助教３」に変更。
・退職の理由により、「臨床見学実習」の専任教員等の配置を「助教４」から「助教３」に変更。
・退職の理由により、「臨床評価実習」の専任教員等の配置を「助教４」から「助教３」に変更。
・退職の理由により、「臨床実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教４」から「助教３」に変更。
・退職の理由により、「臨床実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教４」から「助教３」に変更。

【専門科目（作業療法学）】
・科目適合（審査済）の理由により、「作業療法研究」の専任教員等の配置を「助教１」から「助教４」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「心理社会機能評価演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授０」、「助教０」から「助教１」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「精神障害作業療法学演習Ⅰ（作業治療法）」の専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授０」、「助教０」から「助教１」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「作業療法演習」の専任教員等の配置を「助教２」から「助教３」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「作業療法評価実習」の専任教員等の配置を「助教４」から「助教５」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「作業療法治療実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教４」から「助教５」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「作業療法治療実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教４」から「助教５」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「臨床見学実習」の専任教員等の配置を「助教４」から「助教５」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「臨床評価実習」の専任教員等の配置を「助教４」から「助教５」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「臨床実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教４」から「助教５」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「臨床実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教４」から「助教５」に変更。

【専門科目（言語聴覚学）】
・新採用の理由により、「失語症評価演習」の専任教員等の配置を「助教０」から「助教１」、「兼任１」から「兼任０」に変更。
・新採用の理由により、「高次脳機能障害評価演習」の専任教員等の配置を「助教０」から「助教１」に変更。
・新採用の理由により、「発声発語・摂食嚥下評価演習」の専任教員等の配置を「助教０」から「助教１」に変更。
・新採用の理由により、「臨床見学実習」の専任教員等の配置を「助教１」から「助教３」に変更。
・新採用の理由により、「臨床評価実習」の専任教員等の配置を「助教１」から「助教３」に変更。
・新採用の理由により、「臨床実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教１」から「助教３」に変更。
・新採用の理由により、「臨床実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教１」から「助教３」に変更。
・新採用の理由により、「言語聴覚評価演習」の専任教員等の配置を「助教０」から「助教２」に変更。

【令和２年度】

・職位変更（審査済）の理由により、「情報処理」の専任教員等の配置を「准教授０」から「准教授１」、「講師１」から「講師０」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「人間工学」の専任教員等の配置を「０」から「准教授１」、「講師１」から「講師０」に変更。
・退職、新採用の理由により「生理学」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授０」、「准教授０」から「准教授１」に変更。
・退職、新採用の理由により、「生理学演習」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授０」、「准教授０」から「准教授１」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「運動学演習(バイオメカニクス)」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「准教授１」から「准教授０」に変更。
・指定規則改正に伴う申請により、「臨床栄養学」を追加。
・職位変更（審査済）の理由により、「ナラティブ概論」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「准教授１」から「准教授０」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「音響学」の専任教員等の配置を「准教授０」から「准教授１」、「講師１」から「講師０」に変更。

【専門科目（理学療法学）】
・指定規則改正に伴う申請により、授業科目の名称を「臨床見学実習」から「臨床見学実習Ⅰ」に変更。
・指定規則改正に伴う申請により、「臨床見学実習Ⅱ」を追加。
・指定規則改正に伴う申請により、「臨床実習Ⅱ」を「単位数７」から「単位数８」に変更。

【専門科目（作業療法学）】
・職位変更（審査済）の理由により、「作業療法概論」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「准教授１」から「准教授０」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「研究法演習」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「准教授１」から「准教授０」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「作業療法研究」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「准教授１」から「准教授０」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「作業分析学」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「准教授１」から「准教授０」に変更。
・指定規則改正に伴う申請により、「作業療法管理学」を追加。
・職位変更（審査済）の理由により、「作業療法評価学」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「准教授１」から「准教授０」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「作業治療学の基礎」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「准教授１」から「准教授０」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「身体障害作業療法学」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「准教授１」から「准教授０」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「身体障害作業療法学演習Ⅲ（骨折・切断・内部障害）」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「准教授１」から「准教授０」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「作業療法演習」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「准教授１」から「准教授０」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「作業療法評価実習」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」、「准教授２」から「准教授１」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「作業療法治療実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」、「准教授２」から「准教授１」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「作業療法治療実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」、「准教授２」から「准教授１」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「作業療法特論(基礎)」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「准教授１」から「准教授０」に変更。

・指定規則改正に伴う申請により、授業科目の名称を「臨床見学実習」から「臨床見学実習Ⅰ」に変更、「単位数１」から「単位数２」に変更。
・指定規則改正に伴う申請により、「臨床見学実習Ⅱ」を追加。
・指定規則改正に伴う申請により、「臨床実習Ⅰ」を「単位数７」から「単位数８」に変更。
・指定規則改正に伴う申請により、「臨床実習Ⅱ」を「単位数７」から「単位数８」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「臨床見学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」、「准教授２」から「准教授１」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「臨床評価実習」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」、「准教授２」から「准教授１」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「臨床実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」、「准教授２」から「准教授１」に変更。
・職位変更（審査済）の理由により、「臨床実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」、「准教授２」から「准教授１」に変更。

【専門科目（言語聴覚学）】
・新採用の理由により、「言語聴覚障害診断学演習」の専任教員等の配置を「助教０」から「助教１」、「助手１」から「助手０」に変更。
・新採用の理由により、「発声発語・摂食嚥下評価演習」の専任教員等の配置を「助教１」から「助教２」、「助手１」から「助手０」に変更。
・新採用の理由により、「臨床見学実習」の専任教員等の配置を「助教３」から「助教４」、「助手１」から「助手０」に変更。
・新採用の理由により、「臨床評価実習」の専任教員等の配置を「助教３」から「助教４」、「助手１」から「助手０」に変更。
・新採用の理由により、「臨床実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教３」から「助教４」、「助手１」から「助手０」に変更。
・新採用の理由により、「臨床実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教３」から「助教４」、「助手１」から「助手０」に変更。
・新採用の理由により、「言語聴覚評価演習」の専任教員等の配置を「助教３」から「助教４」、「助手１」から「助手０」に変更。
・新採用の理由により、「地域参加支援演習Ⅰ(理論)」の専任教員等の配置をから「助教０」から「助教１」、「助手１」から「助手０」に変更。
・新採用の理由により、「地域参加支援演習Ⅱ(実践)」の専任教員等の配置を「助教０」から「助教１」、「助手１」から「助手０」に変更。

（注）・　２（１）―① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
22 科目	169 科目	18 科目	209 科目	22 科目 [0]	173 科目 [4]	18 科目 [0]	213 科目 [4]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

（該当なし）

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{209} = 0\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	借用面積：17011.00㎡ 借用期間：H11.1.1～40年間
	校舎敷地	5,642.21㎡	0㎡	0㎡	5,642.21㎡	
	運動場用地	4,082.27㎡	0㎡	0㎡	4,082.27㎡	
	小計	9,724.48㎡	0㎡	0㎡	9,724.48㎡	
	その他	9,919.96㎡	0㎡	0㎡	9,919.96㎡	
	合計	19,644.44㎡	0㎡	0㎡	19,644.44㎡	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
		14,849.82㎡ (14,849.82㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	14,849.82㎡ (14,849.82㎡)	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	18室	16室 ~~26室~~	25室	1室 (補助職員 1人)	0室 (補助職員 0人)	部屋の間仕切りを一部なくしたための減少(29)

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	保健医療学部リハビリテーション学科	16室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	保健医療学部	25,367〔429〕 ~~22,189〔411〕~~ (25,367〔429〕) ~~(22,189〔411〕)~~	170〔40〕 (170〔40〕)	16〔16〕 ~~7〔7〕~~ (16〔16〕) ~~(7〔7〕)~~	761 ~~571~~ (761) ~~(571)~~	5591 (5,591)	122 (122)	
	計	25,367〔429〕 ~~22,189〔411〕~~ (25,367〔429〕) ~~(22,189〔411〕)~~	170〔40〕 (170〔40〕)	16〔16〕 ~~7〔7〕~~ (16〔16〕) ~~(7〔7〕)~~	761 ~~571~~ (761) ~~(571)~~	5591 (5,591)	122 (122)	

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	1016.54㎡	146席 ~~104席~~	50,000冊	座席数の増加(29)

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		備考
	1,140.00㎡	－	－	

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要

経費の見積り 区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
教員１人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	15,700千円	17,000千円	17,000千円
共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	2,000千円	2,000千円	2,000千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
理学療法学専攻	1,550千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	－千円	－千円
作業療法学専攻	1,550千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	－千円	－千円
言語聴覚学専攻	1,500千円	1,250千円	1,250千円	1,250千円	－千円	－千円
学生納付金以外の維持方法の概要	補助金収入、雑収入					

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和２年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（２）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	福井医療大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
保健医療学部	4	180	－	720	－	0.95	0.96	－	平成29	－	
リハビリテーション学科	4	120	－	480	－	0.84	0.84	－	平成29	福井県福井市江上町55-13-1	
理学療法学専攻	4	50	－	200	学士（理学療法学）	1.11	1.22	－	平成29	同上	
作業療法学専攻	4	40	－	160	学士（作業療法学）	0.71	0.67	－	平成29	同上	
言語聴覚学専攻	4	30	－	120	学士（言語聴覚学）	0.59	0.43	－	平成29	同上	
看護学科	4	60	－	240	学士（看護学）	1.17	1.21	－	平成29	同上	
大学全体	－	180	－	720	－	－	－	－	－	－	

大学の名称	（該当なし）										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
（該当なし）											

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和２年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
15 名	8 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
13	5	6	6	30	0	15	4	7	12	38	0
(10)	(3)	(5)	(2)	(20)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
15	4	7	12	38	0	15	4	7	12	38	0
[　2　]	[△1]	[　1　]	[　6　]	[8]	[0]	[　2　]	[△1]	[　1　]	[　6　]	[8]	[0]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
60 歳	10 名	10 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{38}{30} = 126.66\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{10}{38} = 26.31\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = 0\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （平成２８年）	・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から４年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	留意事項	設置計画は、設置認可時に掲げた理念・目的・教育目標を軸に、入学者選抜、教育課程、学位授与の方針に沿って実施している。 教育研究活動は、FD会議、研究促進会議、地域保健教育推進委員会主催のFD研修会、授業評価ｱﾝｹｰﾄ、ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ研修、研究倫理研修、出前講義を行う。(29)	履行済	
認　可　時 （平成２８年）	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。（リハビリテーション学科）	留意事項	高齢の教員は、高度の知識と技能を有しており、大学完成年度に向けて、若手教員の研究、指導には必要と考えている。そのためにも、開学後も30歳台中心の若手教員の増員に関して、専門分野を考慮し段階整備し、高度の知識と技能を若手教員に研究活動を通じて教授していく。 同時に、高齢の教員が担当している科目に関して、段階的に科目申請を行う。 (29)	履行済	
設置計画履行状況 調　　査　　時 （平成２９年）	・保健医療学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	高齢の教員は、高度の知識と技能を有しており、大学完成年度に向けて、若手教員の研究、指導には必要と考えている。平成29年4月開学後に、若手教員の増員計画のもと、30、40歳代の教員5名の職位申請、科目申請を行った。引き続き、大学完成年度に向けて、若手教員の研究、指導を行い、高齢の教員が担当している科目に関して、段階的に科目申請を行う。(30)	履行中	

区　　分	留　意　事　項　等	履　行　状　況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調　　査　　時 （３０年）	該当なし		
設置計画履行状況 調　　査　　時 （元年）	該当なし		

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜保健医療学部　リハビリテーション学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
（該当なし）	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

FD会議

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

原則として、月1回開催、必要に応じ臨時開催

会議の開催は、委員の3分の2以上の出席を以て成立

ｃ　委員会の審議事項等

(1)大学教育における教員の授業内容・方法の改善のための組織的な取組に関すること

(2)教育業績評価及び授業評価に関すること

(3)その他大学教育の改善についての必要な事項に関すること

②　実施状況

ａ　実施内容

・FD研修会の開催

・FD報告書の作成

ｂ　実施方法

・FD研修会・・・年2回

・FD報告書・・・3年に1回

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

・FD研修会・・・平成30年度　計4回 214名

・FD研修会・・・令和元年度　計2回　98名

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修では過去に以下の講演を行っており、教員には様々な視点からアプローチした講演内容を授業に反映できるよう努力を求め、結果は授業評価アンケートで一般に公開している。

令和元年度

講演内容・・・学生の学習モチベーションが上がる授業とは～予備校講師の経験から考える～

大学院設置運営と大学院教育・研究法

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

毎年、授業科目の試験時期に実施

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

学生に対する授業評価アンケート結果は授業科目担当教員に返し、学内掲示板で公開している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

学校教育法第69条の3及び学校教育法施行令第40条の規定に準じ、且つ学校法人新田塚学園福井医療大学学則第3条の規定に基づき、学園及び本学の教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するために、自ら点検及び評価を行い、併せて第三者による評価を実施する「自己点検・評価委員会」を設置する。

委員会では大学の理念目的が、教育研究組織、教育内容・方法・成果、学生の受け入れ、学生支援、教育研究等環境、社会連携・社会貢献、管理運営・財務、内部質保証に反映されているか検証し、報告書を作成していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和３年７月１日　公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和３年７月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和４年度に評価機関（未定）の評価を受けるべく，学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和２年度）

a 公表予定の有無 〔 有 ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 〔 調査結果公表後１ヶ月以内 ・ 公表後２～３ヶ月以内 ・ 公表後３ヶ月以降 〕

c 公表方法 〔 ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

福井医療大学ＦＤ会議規程

（目的）

第１条　福井医療大学（以下「本学」という。）教員の教育・研究活動の向上・能力開発に関して恒常的に検討を行い、その質的充実を図ることを目的として、教授会の基に、ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）会議（以下「会議」という。）を置く。

（組織）

第２条　会議は、次の各号に掲げる委員で組織する。

(1)　学長

(2)　副学長

(3)　学部長

(4)　リハビリテーション学科　教員　3名

(5)　看護学科　教員　1名

(6)　事務員

(7)　学長が指名した教職員

（任期）

第３条　委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

２　会議は学長がこれを招集し、その議長となる。

（会議）

第４条　会議は、原則として、月1回開催する。なお、必要に応じ臨時開催をすることができる。

２　会議の開催は、委員の3分の2以上の出席を以て成立するものとする。

（協議事項）

第５条　会議の協議事項は、次のとおりとする。

(1)　大学教育における教員の授業内容・方法の改善のための組織的な取組に関すること。

(2)　教育業績評価及び授業評価に関すること。

(3)　その他大学教育の改善についての必要な事項に関すること。

（庶務）

第６条　委員会の庶務は、事務課が担当し、連絡、議事録作成等を行う。

（報告）
第７条　委員会の活動については、教授会に議事録を添えて報告する。

（規程の改廃）
第８条　この規程の改廃は、委員会の議を経て、運営会議の承認を得なければならない。

附　則
附則1　この規程は、平成29年4月1日より施行する。

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学校法人新田塚学園

（２）大　学　名

福井医療大学

（３）調査対象大学等の位置

〒９１０－３１９０
福井県福井市江上町５５字鳥町１３番１号

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ハヤシ セイガク） 林　正岳 （平成17年4月1日）	－	
学　　長	（ ヤマグチ アキオ） 山口　明夫 （平成29年4月1日）	－	
学 部 長	（ ホリ　ヒデアキ） 堀　秀昭 （平成29年4月1日）	－	
学科長等	（オオグチ　フミ ） 大口　二美 （平成29年4月1日）	（モリヤマ　エツコ ） 森山　悦子 （平成29年4月1日）	選任のため平成29年4月1日変更(29)

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和元年度に報告済の内容　→（元）
令和２年度に報告する内容　→（２）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は、平成２８年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和２年度までの５年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係（看護学関係）	年 4	人 60	年次 人 －	人 240	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	－人 （－） ［－］	－人	60人 （－） ［－］	－人	60人 （－） ［－］	－人	60人 （－） ［－］	－人	60人 （－） ［－］	－人	1.17倍	－	
志願者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	256 （－） ［－］	－ （－） ［－］	350 （－） ［－］	－ （－） ［－］	255 （－） ［－］	－ （－） ［－］	279 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
受験者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	243 （－） ［－］	－ （－） ［－］	335 （－） ［－］	－ （－） ［－］	245 （－） ［－］	－ （－） ［－］	256 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
合格者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	111 （－） ［－］	－ （－） ［－］	124 （－） ［－］	－ （－） ［－］	138 （－） ［－］	－ （－） ［－］	138 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
Ｂ　入学者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	74 （－） ［－］	－ （－） ［－］	70 （－） ［－］	－ （－） ［－］	67 （－） ［－］	－ （－） ［－］	73 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	－		1.23		1.16		1.11		1.21				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　［　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和２年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

学年＼対象年度	平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	73 [－] (　)	－ [－] (－)	69 [－] (－)	－ [－] (－)	67 [－] (－)	－ [－] (－)	74 [－] (1)	－ [－] (－)	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	71 [－] (－)	－ [－] (－)	78 [－] (9)	－ [－] (－)	69 [－] (4)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	62 [－] (－)	－ [－] (－)	75 [－] (7)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	58 [－] (－)	－ [－] (－)	
計	－ [－] (－)		73 [－] (－)		140 [－] (－)		207 [－] (9)		276 [－] (12)		

・令和２年５月１日　公表

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	内訳 退学者数	内訳 退学者数 うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
平成28年度	－ 人	－ 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
平成29年度	74 人	1 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	－ 人	－ 人	家庭の事情(1人)
平成30年度	143 人	3 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、就職(1人)
			平成30年度	1 人	0 人	除籍(1人)
令和元年度	207 人	4 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(3人)
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)
令和2年度	276 人	0 人	平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合　計		8 人		8 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

平成28年度の退学者数(a) / 平成28年度の在学者数(b) = － / － = － %

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) / 平成29年度の在学者数(b) = 1 / 74 = 1.35 %

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 3 / 143 = 2.09 %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 4 / 207 = 1.93 %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 0 / 276 = 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜保健医療学部　看護学科＞

（1）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
一般教育科目	安全学	3前		2							1
	教育学	1前		2							1
	統計学	2後		2							1
	情報科学	2前		2							1
	情報処理	3前		2							1
	物理学	1前		2							1
	生物学	1前	2								1
	人間工学	1後		2							1
	文化人類学	2前		2							1
	哲学	2前		2							1
	人間関係論	2後		2							1
	心理学	1後		2		1					
	家族心理学	2前		2							1
	生命倫理	1後	2								1
	倫理学	1前	2								1
	社会福祉学	1前		2							3
	ボランティア論	1通		2							1
	英語Ⅰ	1前・後	2								1
	英語Ⅱ	2前・後	2								1
	英語Ⅲ	2前・後		2							1
	英語Ⅳ	3前		2							1
	英会話	1前・後		2							1
	フレッシャーズセミナーⅠ	1前	2								1
	フレッシャーズセミナーⅡ	1前～後	2					1			4
	日本国憲法	1前		2							1
	体育	1前		2							1
	スポーツ医学Ⅰ	2前			2						3
	スポーツ医学Ⅱ	2前			2						2
	スポーツ社会経営学	4前			2						1
	コーチング論	3前			2						1
	競技者育成システム論	3後			1						1
	トレーニング科学Ⅰ	1前			2						1
	スポーツ栄養学Ⅰ	3前			1						1
	アスレティックトレーナーの役割	1前			2						1
	小計（34科目）	－									
専門基礎科目	身体構造機能学Ⅰ	1通	2			1					
	身体構造機能学Ⅱ	1通	2			1					
	生化学	1後	1								1
	病態学総論	1後	1			1					
	疾病治療論Ⅰ（外科）	1後	1								3
	疾病治療論Ⅱ（整形・脳神経）	2前	1								2
	疾病治療論Ⅲ（排泄・感覚・歯）	2前	1								4
	疾病治療論Ⅳ（呼吸・循環・血液）	1後	1			1					
	疾病治療論Ⅴ（腎臓・内分泌・消化	2前	1			1					
	老年疾病治療論	2前	1			1					
	母子疾病治療論Ⅰ（小児）	2前	1								1

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
一般教育科目	安全学	3前		2							1
	教育学	1前		2		1					
	統計学	2後		2							1
	情報科学	2前		2							1
	情報処理	3前		2							1
	物理学	1前		2							1
	生物学	1前	2								1
	人間工学	1後		2							1
	文化人類学	2前		2							1
	哲学	2前		2							1
	人間関係論	2後		2							1
	心理学	1後		2			1				
	家族心理学	2前		2							1
	生命倫理	1後	2								1
	倫理学	1前	2								1
	社会福祉学	1前		2							3
	ボランティア論	1通		2							1
	英語Ⅰ	1前・後	2								1
	英語Ⅱ	2前・後	2								1
	英語Ⅲ	2前・後		2							1
	英語Ⅳ	3前		2							1
	英会話	1前・後		2							1
	フレッシャーズセミナーⅠ	1前	2								1
	フレッシャーズセミナーⅡ	1前～後	2					1			4
	日本国憲法	1前		2							1
	体育	1前		2							1
	スポーツ医学Ⅰ	2前			2						3
	スポーツ医学Ⅱ	2前			2	1					5
	スポーツ社会経営学	4前			2						1
	コーチング論	3前			2						1
	競技者育成システム論	3後			1						1
	トレーニング科学Ⅰ	1前			2						1
	スポーツ栄養学Ⅰ	3前			1						1
	アスレティックトレーナーの役割	1前			2						1
	小計（34科目）	－									
専門基礎科目	身体構造機能学Ⅰ	1通	2				1				
	身体構造機能学Ⅱ	1通	2				1				
	生化学	1後	1				1				
	病態学総論	1後	1			1					
	疾病治療論Ⅰ（外科）	1後	1								3
	疾病治療論Ⅱ（整形・脳神経）	2前	1								2
	疾病治療論Ⅲ（排泄・感覚・歯）	2前	1								4
	疾病治療論Ⅳ（呼吸・循環・血液）	1後	1			1					
	疾病治療論Ⅴ（腎臓・内分泌・消化	2前	1			1					
	老年疾病治療論	2前	1			1					
	母子疾病治療論Ⅰ（小児）	2前	1								1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門基礎科目	母子疾病治療論Ⅱ(周産期･女性疾患)	2前	1								2
	精神疾病治療論	2前	1			1					
	リハビリテーション医学治療学	2前	1								1
	微生物学	1後	1								1
	臨床栄養学	2前	1								2
	薬理学	1後	1								1
	多職種連携論	2後	1				1				
	チーム医療論	3前	1								1
	医療リスクマネジメント論	2後	1			1					
	ヘルスケアシステム論	2後	1					1			
	看護と法律	2前	1								1
	健康増進科学	1前	1								1
	健康増進科学演習	1後	1								1
	環境と健康	1前		1							1
	生涯発達心理学	2前		2				1			
	健康教育論	1後		1							1
	感染管理学	2前	1								1
	小計(28科目)	－									
専門科目	基礎看護学総論	1通	2					1			
	基礎看護学援助論Ⅰ(日常生活にかかわる技術)	1前	2					4			
	基礎看護学援助論Ⅱ(看護過程技術)	1後	2					4			
	基礎看護学援助論Ⅲ(診療にかかわる技術)	2前	2					4			
	フィジカルアセスメント	1後	2					4			
	看護管理･教育学概論	4後	1			1		1			
	基礎看護学実習Ⅰ	1後	1					4			
	基礎看護学実習Ⅱ	2前	2					4			
	成人看護学総論	1後	1			1					
	急性期成人臨床看護学	2前	1			1					
	回復期成人臨床看護学	2前	1					1			
	慢性期成人臨床看護学	2後	1			1					
	終末期成人臨床看護学	2後	1			1					
	成人看護学演習	3前	2			1				1	
	救急看護論	3前	1			1					
	急性期成人看護学実習	3後･4前	2			1				1	
	回復期成人看護学実習	3後･4前	2					1			
	慢性期成人看護学実習	3後･4前	2			1				1	
	老年看護学総論	2後	1			1					
	老年臨床看護学	3前	1			1					
	老年看護学演習	3前	2			1	1				
	老年看護学実習Ⅰ	3後･4前	2				1				
	老年看護学実習Ⅱ	3後･4前	2			1				1	

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門基礎科目	母子疾病治療論Ⅱ(周産期･女性疾患)	2前	1								2
	精神疾病治療論	2前	1			1					
	リハビリテーション医学治療学	2前	1								1
	微生物学	1後	1								1
	臨床栄養学	2前	1								2
	薬理学	1後	1								1
	多職種連携論	2後	1				1				
	チーム医療論	3前	1								1
	医療リスクマネジメント論	2後	1					1			
	ヘルスケアシステム論	2後	1					1			
	看護と法律	2前	1								1
	健康増進科学	1前	1								1
	健康増進科学演習	1後	1								1
	環境と健康	1前		1							1
	生涯発達心理学	2前		2				1			
	健康教育論	1後		1							1
	感染管理学	2前	1								1
	小計(28科目)	－									
専門科目	基礎看護学総論	1通	2					1			
	基礎看護学援助論Ⅰ(日常生活にかかわる技術)	1前	2					4			2
	基礎看護学援助論Ⅱ(看護過程技術)	1後	2					4			2
	基礎看護学援助論Ⅲ(診療にかかわる技術)	2前	2					4			2
	フィジカルアセスメント	1後	2					4			2
	看護管理･教育学概論	4後	1			1		1			
	基礎看護学実習Ⅰ	1後	1					4			2
	基礎看護学実習Ⅱ	2前	2					4			2
	成人看護学総論	1後	1			1					
	急性期成人臨床看護学	2前	1			1					
	回復期成人臨床看護学	2前	1					1			
	慢性期成人臨床看護学	2後	1			1					
	終末期成人臨床看護学	2後	1			1					
	成人看護学演習	3前	2			2		1	1	1	
	救急看護論	3前	1			1					
	急性期成人看護学実習	3後･4前	2			1				1	
	回復期成人看護学実習	3後･4前	2					1	1		
	慢性期成人看護学実習	3後･4前	2			1			1		
	老年看護学総論	2後	1			1					
	老年臨床看護学	3前	1			1					
	老年看護学演習	3前	2			1	1				
	老年看護学実習Ⅰ	3後･4前	2				1				
	老年看護学実習Ⅱ	3後･4前	2			1				1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	小児看護学総論	2後	1				1				
	小児臨床看護学	3前	1				1				
	小児看護学演習	3前	2				1				
	小児看護学実習	3後・4前	2				1			1	
	母性看護学総論	2後	1				1				
	母性臨床看護学	3前	1				1				
	母性看護学演習	3前	2				1	1			
	母性看護学実習	3後・4前	2				1	1			
	精神保健看護学総論	2前	2				1				
	精神臨床看護学	3前	1				1				
	精神看護学演習	3前	1				1				
	精神看護学実習	3後・4前	2				1				
	広域看護学総論	2後	1				1				
	在宅看護学	3前	1				1				
	在宅看護学演習	3前	2				1		1		
	家族看護論	3前	1								1
	在宅看護学実習	3後・4通	2				1		1	1	
	リハビリテーション看護論	3前	1					1			
	国際看護学	4後	1								1
	ヘルスアセスメント	3前	1			1					
	看護研究方法論	2後	1			2					
	看護研究	3後～4通	3			4	5	1			
	統合実習	4前	2			2	4	2		6	
	生活習慣病予防論	3前		1		1					
	思春期健康論	2後		1			1				
	認知症看護援助論	3前		1		1					
	リエゾン看護論	3前		1			1				
	災害看護学	4後		1		1					1
	組織とリーダーシップ学	4後		1				1			
	小計（52科目）	－									

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	小児看護学総論	2後	1			1					
	小児臨床看護学	3前	1			1					
	小児看護学演習	3前	2			1					
	小児看護学実習	3後・4前	2			1				1	
	母性看護学総論	2後	1				1				
	母性臨床看護学	3前	1				1				
	母性看護学演習	3前	2				1	1		1	
	母性看護学実習	3後・4前	2				1	1		1	
	精神保健看護学総論	2前	2				1				
	精神臨床看護学	3前	1				1				
	精神看護学演習	3前	1				1			1	
	精神看護学実習	3後・4前	2				1			1	
	広域看護学総論	2後	1				1				
	在宅看護学	3前	1				1				
	在宅看護学演習	3前	2				1		1		
	家族看護論	3前	1								1
	在宅看護学実習	3後・4通	2				1		1		
	リハビリテーション看護論	3前	1					1			
	国際看護学	4後	1								1
	ヘルスアセスメント	3前	1			2	1	2	1		
	看護研究方法論	2後	1			2					
	看護研究	3後～4通	3			5	3	1			
	統合実習	4前	2			3	3	3	1	7	
	生活習慣病予防論	3前		1		1					
	思春期健康論	2後		1			1				
	認知症看護援助論	3前		1		1					
	リエゾン看護論	3前		1			1				
	災害看護学	4後		1		1					1
	組織とリーダーシップ学	4後		1				1			
	小計（52科目）	－									

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
養護科目	学校保健	2後			2			2	1		
	養護概説	1後			2			2	1		
	健康相談活動の理論及び方法	3前			2			2	1		
	食品学	2前			1						1
	教職概論	1後			2	1					
	教育原理	1前			2	1					
	学校経営論	3前			2						1
	教育課程論	3前			2						1
	特別活動指導法	3前			2						1
	道徳教育の研究	3前			2						1
	教育方法論	2後			2						1
	生徒指導論	3前			2						1
	教育相談	3前			2						1
	養護実習	3後・4前			5			2	1		
	教職実践演習(養護教諭)	4後			2	1		2			
	小計(15科目)	－									
合計(129科目)		－									

卒業要件及び履修方法

看護師国家試験受験資格の取得

一般教育科目　24単位(必修14単位、選択10単位)

専門基礎科目　27単位(必修27単位)

専門科目　　74単位(必修70単位、選択 4単位)

合計　　125単位(必修111単位、選択14単位)

履修科目の登録上限　46単位(年間)

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
養護科目	学校保健	2後			2			2			
	養護概説	1後			2			2			
	健康相談活動の理論及び方法	3前			2			2			
	食品学	2前			1						1
	教職概論	1後			2	1					
	教育原理	1前			2	1					
	学校経営論	3前			2						1
	特別支援教育論	**2後**			**2**						**1**
	教育課程論	3前			2						1
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3前			2						1
	道徳教育指導論	3前			2						1
	教育方法論	2後			2						1
	生徒指導論	3前			2						1
	教育相談	3前			2						1
	養護実習	3後・4前			5			2			
	教職実践演習(養護教諭)	4後			2	1		2			
	小計(**16科目**)	－									
合計(**130科目**)		－									

卒業要件及び履修方法

看護師国家試験受験資格の取得

一般教育科目　24単位(必修14単位、選択10単位)

専門基礎科目　27単位(必修27単位)

専門科目　　74単位(必修70単位、選択 4単位)

合計　　125単位(必修111単位、選択14単位)

履修科目の登録上限　46単位(年間)

【平成２９年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
一般教育科目	安全学	3前		2							
	教育学	1前		2							1
	統計学	2後		2							1
	情報科学	2前		2							1
	情報処理	3前		2							1
	物理学	1前		2							1
	生物学	1前	2								1
	人間工学	1後		2							1
	文化人類学	2前		2							1
	哲学	2前		2							1
	人間関係論	2後		2							1
	心理学	1後		2		1					
	家族心理学	2前		2							1
	生命倫理	1後	2								1
	倫理学	1前	2								1
	社会福祉学	1前		2							3
	ボランティア論	1通		2							1
	英語Ⅰ	1前・後	2								1
	英語Ⅱ	2前・後	2								1
	英語Ⅲ	2前・後		2							1
	英語Ⅳ	3前		2							1
	英会話	1前・後		2							1
	フレッシャーズセミナーⅠ	1前	2								1
	フレッシャーズセミナーⅡ	1前～後	2					1			4
	日本国憲法	1前		2							1
	体育	1前		2							1
	スポーツ医学Ⅰ	2前			2						3
	スポーツ医学Ⅱ	2前			2						2
	スポーツ社会経営学	4前			2						1
	コーチング論	3前			2						1
	競技者育成システム論	3後			1						1
	トレーニング科学Ⅰ	1前			2						1
	スポーツ栄養学Ⅰ	3前			1						1
	アスレティックトレーナーの役割	1前			2						1
	小計（34科目）	－									
専門基礎科目	身体構造機能学Ⅰ	1通	2			1					
	身体構造機能学Ⅱ	1通	2			1					
	生化学	1後	1								1
	病態学総論	1後	1			1					
	疾病治療論Ⅰ（外科）	1後	1								3
	疾病治療論Ⅱ（整形・脳神経）	2前	1								2
	疾病治療論Ⅲ（排泄・感覚・歯）	2前	1								4
	疾病治療論Ⅳ（呼吸・循環・血液）	1後	1			1					
	疾病治療論Ⅴ（腎臓・内分泌・消化	2前	1			1					
	老年疾病治療論	2前	1			1					
	母子疾病治療論Ⅰ（小児）	2前	1								1

【平成３０年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
一般教育科目	安全学	3前		2							1
	教育学	1前		2		1					
	統計学	2後		2							1
	情報科学	2前		2							1
	情報処理	3前		2							1
	物理学	1前		2							1
	生物学	1前	2								1
	人間工学	1後		2							1
	文化人類学	2前		2							1
	哲学	2前		2							1
	人間関係論	2後		2							1
	心理学	1後		2		1					
	家族心理学	2前		2							1
	生命倫理	1後	2								1
	倫理学	1前	2								1
	社会福祉学	1前		2							3
	ボランティア論	1通		2							1
	英語Ⅰ	1前・後	2								1
	英語Ⅱ	2前・後	2								1
	英語Ⅲ	2前・後		2							1
	英語Ⅳ	3前		2							1
	英会話	1前・後		2							1
	フレッシャーズセミナーⅠ	1前	2								1
	フレッシャーズセミナーⅡ	1前～後	2					1			4
	日本国憲法	1前		2							1
	体育	1前		2							1
	スポーツ医学Ⅰ	2前			2						3
	スポーツ医学Ⅱ	2前			2						2
	スポーツ社会経営学	4前			2						1
	コーチング論	3前			2						1
	競技者育成システム論	3後			1						1
	トレーニング科学Ⅰ	1前			2						1
	スポーツ栄養学Ⅰ	3前			1						1
	アスレティックトレーナーの役割	1前			2						1
	小計（34科目）	－									
専門基礎科目	身体構造機能学Ⅰ	1通	2			1					
	身体構造機能学Ⅱ	1通	2			1					
	生化学	1後	1								1
	病態学総論	1後	1			1					
	疾病治療論Ⅰ（外科）	1後	1								3
	疾病治療論Ⅱ（整形・脳神経）	2前	1								2
	疾病治療論Ⅲ（排泄・感覚・歯）	2前	1								4
	疾病治療論Ⅳ（呼吸・循環・血液）	1後	1			1					
	疾病治療論Ⅴ（腎臓・内分泌・消化	2前	1			1					
	老年疾病治療論	2前	1			1					
	母子疾病治療論Ⅰ（小児）	2前	1								1

【平成２９年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門基礎科目	母子疾病治療論Ⅱ(周産期･女性疾患)	2前	1								2
	精神疾病治療論	2前	1			1					
	リハビリテーション医学治療学	2前	1								1
	微生物学	1後	1								1
	臨床栄養学	2前	1								2
	薬理学	1後	1								1
	多職種連携論	2後	1				1				
	チーム医療論	3前	1								1
	医療リスクマネジメント論	2後	1			1					
	ヘルスケアシステム論	2後	1					1			
	看護と法律	2前	1								1
	健康増進科学	1前	1								1
	健康増進科学演習	1後	1								1
	環境と健康	1前		1							1
	生涯発達心理学	2前		2				1			
	健康教育論	1後		1							1
	感染管理学	2前	1								1
	小計(28科目)	－									
専門科目	基礎看護学総論	1通	2					1			
	基礎看護学援助論Ⅰ(日常生活にかかわる技術)	1前	2					4			
	基礎看護学援助論Ⅱ(看護過程技術)	1後	2					4			
	基礎看護学援助論Ⅲ(診療にかかわる技術)	2前	2					4			
	フィジカルアセスメント	1後	2					4			
	看護管理･教育学概論	4後	1			1		1			
	基礎看護学実習Ⅰ	1後	1					4			
	基礎看護学実習Ⅱ	2前	2					4			
	成人看護学総論	1後	1			1					
	急性期成人臨床看護学	2前	1			1					
	回復期成人臨床看護学	2前	1					1			
	慢性期成人臨床看護学	2後	1			1					
	終末期成人臨床看護学	2後	1			1					
	成人看護学演習	3前	2			1				1	
	救急看護論	3前	1			1					
	急性期成人看護学実習	3後･4前	2			1				1	
	回復期成人看護学実習	3後･4前	2					1			
	慢性期成人看護学実習	3後･4前	2			1				1	
	老年看護学総論	2後	1			1					
	老年臨床看護学	3前	1			1					
	老年看護学演習	3前	2			1	1				
	老年看護学実習Ⅰ	3後･4前	2				1				
	老年看護学実習Ⅱ	3後･4前	2			1				1	

【平成３０年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門基礎科目	母子疾病治療論Ⅱ(周産期･女性疾患)	2前	1								2
	精神疾病治療論	2前	1			1					
	リハビリテーション医学治療学	2前	1								1
	微生物学	1後	1								1
	臨床栄養学	2前	1								2
	薬理学	1後	1								1
	多職種連携論	2後	1				1				
	チーム医療論	3前	1								1
	医療リスクマネジメント論	2後	1			1					
	ヘルスケアシステム論	2後	1					1			
	看護と法律	2前	1								1
	健康増進科学	1前	1								1
	健康増進科学演習	1後	1								1
	環境と健康	1前		1							1
	生涯発達心理学	2前		2				1			
	健康教育論	1後		1							1
	感染管理学	2前	1								1
	小計(28科目)	－									
専門科目	基礎看護学総論	1通	2					1			
	基礎看護学援助論Ⅰ(日常生活にかかわる技術)	1前	2					4			
	基礎看護学援助論Ⅱ(看護過程技術)	1後	2					4			
	基礎看護学援助論Ⅲ(診療にかかわる技術)	2前	2					4			
	フィジカルアセスメント	1後	2					4			
	看護管理･教育学概論	4後	1			1		1			
	基礎看護学実習Ⅰ	1後	1					4			
	基礎看護学実習Ⅱ	2前	2					4			
	成人看護学総論	1後	1			1					
	急性期成人臨床看護学	2前	1			1					
	回復期成人臨床看護学	2前	1					1			
	慢性期成人臨床看護学	2後	1			1					
	終末期成人臨床看護学	2後	1			1					
	成人看護学演習	3前	2			2		1		1	
	救急看護論	3前	1			1					
	急性期成人看護学実習	3後･4前	2			1				1	
	回復期成人看護学実習	3後･4前	2					1			
	慢性期成人看護学実習	3後･4前	2			1				1	
	老年看護学総論	2後	1			1					
	老年臨床看護学	3前	1			1					
	老年看護学演習	3前	2			1	1				
	老年看護学実習Ⅰ	3後･4前	2				1				
	老年看護学実習Ⅱ	3後･4前	2			1				1	

【平成２９年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	小児看護学総論	2後	1				1				
	小児臨床看護学	3前	1				1				
	小児看護学演習	3前	2				1				
	小児看護学実習	3後・4前	2				1			1	
	母性看護学総論	2後	1				1				
	母性臨床看護学	3前	1				1				
	母性看護学演習	3前	2				1	1			
	母性看護学実習	3後・4前	2				1	1			
	精神保健看護学総論	2前	2				1				
	精神臨床看護学	3前	1				1				
	精神看護学演習	3前	1				1				
	精神看護学実習	3後・4前	2				1				
	広域看護学総論	2後	1				1				
	在宅看護学	3前	1				1				
	在宅看護学演習	3前	2				1		1		
	家族看護論	3前	1								1
	在宅看護学実習	3後・4通	2				1		1	1	
	リハビリテーション看護論	3前	1					1			
	国際看護学	4後	1								1
	ヘルスアセスメント	3前	1			1					
	看護研究方法論	2後	1			2					
	看護研究	3後～4通	3			4	5	1			
	統合実習	4前	2			2	4	2		6	
	生活習慣病予防論	3前		1		1					
	思春期健康論	2後		1			1				
	認知症看護援助論	3前		1		1					
	リエゾン看護論	3前		1			1				
	災害看護学	4後		1		1					1
	組織とリーダーシップ学	4後		1				1			
	小計（52科目）	－									

【平成３０年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	小児看護学総論	2後	1				1				
	小児臨床看護学	3前	1				1				
	小児看護学演習	3前	2				1				
	小児看護学実習	3後・4前	2				1			1	
	母性看護学総論	2後	1				1				
	母性臨床看護学	3前	1				1				
	母性看護学演習	3前	2				1	1			
	母性看護学実習	3後・4前	2				1	1			
	精神保健看護学総論	2前	2				1				
	精神臨床看護学	3前	1				1				
	精神看護学演習	3前	1				1				
	精神看護学実習	3後・4前	2				1				
	広域看護学総論	2後	1				1				
	在宅看護学	3前	1				1				
	在宅看護学演習	3前	2				1		1		
	家族看護論	3前	1								1
	在宅看護学実習	3後・4通	2				1		1	1	
	リハビリテーション看護論	3前	1					1			
	国際看護学	4後	1								1
	ヘルスアセスメント	3前	1			2	1	2			
	看護研究方法論	2後	1			2					
	看護研究	3後～4通	3			4	6	1			
	統合実習	4前	2			2	5	3		6	
	生活習慣病予防論	3前		1		1					
	思春期健康論	2後		1			1				
	認知症看護援助論	3前		1		1					
	リエゾン看護論	3前		1			1				
	災害看護学	4後		1		1					1
	組織とリーダーシップ学	4後		1				1			
	小計（52科目）	－									

【平成２９年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
養護科目	学校保健	2後			2			2			
	養護概説	1後			2			2			
	健康相談活動の理論及び方法	3前			2			2			
	食品学	2前			1						1
	教職概論	1後			2	1					
	教育原理	1前			2	1					
	学校経営論	3前			2						1
	教育課程論	3前			2						1
	特別活動論	3前			2						1
	道徳教育指導論	3前			2						1
	教育方法論	2後			2						1
	生徒指導論	3前			2						1
	教育相談	3前			2						1
	養護実習	3後・4前			5			2			
	教職実践演習(養護教諭)	4後			2	1		2			
	小計(15科目)	－									
合計(129科目)		－									

卒業要件及び履修方法

看護師国家試験受験資格の取得

一般教育科目　24単位(必修14単位、選択10単位)

専門基礎科目　27単位(必修27単位)

専門科目　　74単位(必修70単位、選択 4単位)

合計　　125単位(必修111単位、選択14単位)

履修科目の登録上限　46単位(年間)

【平成３０年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
養護科目	学校保健	2後			2			2			
	養護概説	1後			2			2			
	健康相談活動の理論及び方法	3前			2			2			
	食品学	2前			1						1
	教職概論	1後			2	1					
	教育原理	1前			2	1					
	学校経営論	3前			2						1
	教育課程論	3前			2						1
	特別活動論	3前			2						1
	道徳教育指導論	3前			2						1
	教育方法論	2後			2						1
	生徒指導論	3前			2						1
	教育相談	3前			2						1
	養護実習	3後・4前			5			2			
	教職実践演習(養護教諭)	4後			2	1		2			
	小計(15科目)	－									
合計(129科目)		－									

卒業要件及び履修方法

看護師国家試験受験資格の取得

一般教育科目　24単位(必修14単位、選択10単位)

専門基礎科目　27単位(必修27単位)

専門科目　　74単位(必修70単位、選択 4単位)

合計　　125単位(必修111単位、選択14単位)

履修科目の登録上限　46単位(年間)

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般教育科目	安全学	3前		2							1
	教育学	1前		2		1					
	統計学	2後		2							1
	情報科学	2前		2							1
	情報処理	3前		2							1
	物理学	1前		2							1
	生物学	1前	2								1
	人間工学	1後		2							1
	文化人類学	2前		2							1
	哲学	2前		2							1
	人間関係論	2後		2							1
	心理学	1後		2		1					
	家族心理学	2前		2							1
	生命倫理	1後	2								1
	倫理学	1前	2								1
	社会福祉学	1前		2							3
	ボランティア論	1通		2							1
	英語Ⅰ	1前・後	2								1
	英語Ⅱ	2前・後	2								1
	英語Ⅲ	2前・後		2							1
	英語Ⅳ	3前		2							1
	英会話	1前・後		2							1
	フレッシャーズセミナーⅠ	1前	2								1
	フレッシャーズセミナーⅡ	1前～後	2					1			4
	日本国憲法	1前		2							1
	体育	1前		2							1
	スポーツ医学Ⅰ	2前			2						4
	スポーツ医学Ⅱ	2前			2	1					5
	スポーツ社会経営学	4前			2						1
	コーチング論	3前			2						1
	競技者育成システム論	3後			1						1
	トレーニング科学Ⅰ	1前			2						1
	スポーツ栄養学Ⅰ	3前			1						1
	アスレティックトレーナーの役割	1前			2						1
	小計(34科目)	－									
専門基礎科目	身体構造機能学Ⅰ	1通	2			1					
	身体構造機能学Ⅱ	1通	2			1					
	生化学	1後	1								1
	病態学総論	1後	1			1					
	疾病治療論Ⅰ(外科)	1後	1								3
	疾病治療論Ⅱ(整形・脳神経)	2前	1								2
	疾病治療論Ⅲ(排泄・感覚・歯)	2前	1								4
	疾病治療論Ⅳ(呼吸・循環・血液)	1後	1			1					
	疾病治療論Ⅴ(腎臓・内分泌・消化	2前	1			1					
	老年疾病治療論	2前	1			1					
	母子疾病治療論Ⅰ(小児)	2前	1								1

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	母子疾病治療論Ⅱ(周産期･女性疾患)	2前	1								2
	精神疾病治療論	2前	1			1					
	リハビリテーション医学治療学	2前	1								1
	微生物学	1後	1								1
	臨床栄養学	2前	1								2
	薬理学	1後	1								1
	多職種連携論	2後	1				1				
	チーム医療論	3前	1								1
	医療リスクマネジメント論	2後	1					1			
	ヘルスケアシステム論	2後	1					1			
	看護と法律	2前	1								1
	健康増進科学	1前	1								1
	健康増進科学演習	1後	1								1
	環境と健康	1前		1							1
	生涯発達心理学	2前		2				1			
	健康教育論	1後		1							1
	感染管理学	2前	1								1
	小計(28科目)	－									
専門科目	基礎看護学総論	1通	2					1			
	基礎看護学援助論Ⅰ(日常生活にかかわる技術)	1前	2					4			2
	基礎看護学援助論Ⅱ(看護過程技術)	1後	2					4			2
	基礎看護学援助論Ⅲ(診療にかかわる技術)	2前	2					4			2
	フィジカルアセスメント	1後	2					4			2
	看護管理･教育学概論	4後	1			1		1			
	基礎看護学実習Ⅰ	1後	1					4			2
	基礎看護学実習Ⅱ	2前	2					4			2
	成人看護学総論	1後	1			1					
	急性期成人臨床看護学	2前	1			1					
	回復期成人臨床看護学	2前	1					1			
	慢性期成人臨床看護学	2後	1			1					
	終末期成人臨床看護学	2後	1			1					
	成人看護学演習	3前	2			2		1		1	
	救急看護論	3前	1			1					
	急性期成人看護学実習	3後･4前	2			1				1	
	回復期成人看護学実習	3後･4前	2					1			
	慢性期成人看護学実習	3後･4前	2			1				1	
	老年看護学総論	2後	1			1					
	老年臨床看護学	3前	1			1					
	老年看護学演習	3前	2			1	1				
	老年看護学実習Ⅰ	3後･4前	2				1				
	老年看護学実習Ⅱ	3後･4前	2			1				1	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	小児看護学総論	2後	1				1				
	小児臨床看護学	3前	1				1				
	小児看護学演習	3前	2				1				
	小児看護学実習	3後・4前	2				1			1	
	母性看護学総論	2後	1				1				
	母性臨床看護学	3前	1				1				
	母性看護学演習	3前	2				1	1		1	
	母性看護学実習	3後・4前	2				1	1		1	
	精神保健看護学総論	2前	2				1				
	精神臨床看護学	3前	1				1				
	精神看護学演習	3前	1				1			1	
	精神看護学実習	3後・4前	2				1			1	
	広域看護学総論	2後	1				1				
	在宅看護学	3前	1				1				
	在宅看護学演習	3前	2				1		1		
	家族看護論	3前	1								1
	在宅看護学実習	3後・4通	2				1		1		
	リハビリテーション看護論	3前	1					1			
	国際看護学	4後	1								1
	ヘルスアセスメント	3前	1			2	1	2			
	看護研究方法論	2後	1			2					
	看護研究	3後～4通	3			4	4	1			
	統合実習	4前	2			2	4	3		8	
	生活習慣病予防論	3前		1		1					
	思春期健康論	2後		1			1				
	認知症看護援助論	3前		1		1					
	リエゾン看護論	3前		1			1				
	災害看護学	4後		1		1					1
	組織とリーダーシップ学	4後		1				1			
	小計（52科目）	－									

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
養護科目	学校保健	2後			2			2			
	養護概説	1後			2			2			
	健康相談活動の理論及び方法	3前			2			2			
	食品学	2前			1						1
	教職概論	1後			2	1					
	教育原理	1前			2	1					
	学校経営論	3前			2						1
	教育課程論	3前			2						1
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3前			2						1
	道徳教育指導論	3前			2						1
	教育方法論	2後			2						1
	生徒指導論	3前			2						1
	教育相談	3前			2						1
	養護実習	3後・4前			5			2			
	教職実践演習(養護教諭)	4後			2	1		2			
	小計(15科目)	－									
合計(129科目)		－									

卒業要件及び履修方法

看護師国家試験受験資格の取得

一般教育科目　24単位(必修14単位、選択10単位)

専門基礎科目　27単位(必修27単位)

専門科目　　74単位(必修70単位、選択 4単位)

合計　　125単位(必修111単位、選択14単位)

履修科目の登録上限　46単位(年間)

（注）・　報告年度の5月１日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・　専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【平成２９年度】

・教職課程申請（教職員課）指導により、授業科目の名称を「特別活動指導法」から「特別活動論」に変更。
・教職課程申請（教職員課）指導により、授業科目の名称を「道徳教育の研究」から「道徳教育指導論」に変更。
・教職課程申請（教職員課）指導（教員審査）により、「学校保健」の専任教員等の配置を「助教１」から「助教０」に変更。
・教職課程申請（教職員課）指導（教員審査）により、「養護概説」の専任教員等の配置を「助教１」から「助教０」に変更。
・教職課程申請（教職員課）指導（教員審査）により、「健康相談活動の理論及び方法」の専任教員等の配置を「助教１」から「助教０」に変更。
・教職課程申請（教職員課）指導（教員審査）により、「養護実習」の専任教員等の配置を「助教１」から「助教０」に変更。

【平成３０年度】

・兼任講師辞任の理由により、「教育学」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」に変更。
・教育効果向上の理由により、「成人看護学演習」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」、「講師０」から「講師１」に変更。
・教育効果向上の理由により、「ヘルスアセスメント」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」、「准教授０」から「准教授１」、「講師０」から「講師２」に変更。
・教育効果向上の理由により、「看護研究」の専任教員等の配置を「准教授５」から「准教授６」に変更。
・教育効果向上の理由により、「統合実習」の専任教員等の配置を「准教授４」から「准教授５」」、「講師２」から「講師３」に変更。

【令和元年度】

・科目適合（審査済）の理由により、「スポーツ医学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「医療リスクマネジメント論」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授０」、「講師０」から「講師１」に変更。
・担当教員辞任の理由により、「看護研究」の専任教員等の配置を「准教授６」から「准教授４」に変更。
・担当教員辞任の理由により、「統合実習」の専任教員等の配置を「准教授５」から「准教授４」に変更。
・教職課程再課程認定申請（教職員課）指導により、授業科目の名称を「特別活動論」から「特別活動及び総合的な学習の時間の指導法」に変更。

【令和２年度】

・科目適合（審査済）、退職の理由により、「心理学 」の専任教員等を「教授１」から「教授０」、「講師０」から「講師１」に変更。
・科目適合（審査済）、退職の理由により、「身体構造機能学Ⅰ 」の専任教員等を「教授１」から「教授０」、「准教授０」から「准教授１」に変更。
・科目適合（審査済）、退職の理由により、「身体構造機能学Ⅱ 」の専任教員等を「教授１」から「教授０」、「准教授０」から「准教授１」に変更。
・科目適合（審査済）、退職の理由により、「生化学 」の専任教員等を「兼担１」から「兼担０」、「准教授０」から「准教授１」に変更。
・新採用の理由により、「成人看護学演習」の専任教員等の配置を「助教０」から「助教１」、「助手１」から「助教０」に変更。
・新採用の理由により、「回復期成人看護学実習」の専任教員等の配置を「助教０」から「助教１」に変更。
・新採用の理由により、「慢性期成人看護学実習」の専任教員等の配置を「助教０」から「助教１」、「助手１」から「助教０」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「小児看護学総論」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「准教授１」から「准教授０」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「小児臨床看護学」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「准教授１」から「准教授０」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「小児看護学演習」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「准教授１」から「准教授０」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「小児看護学実習」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「准教授１」から「准教授０」に変更。

・新採用の理由により、「ヘルスアセスメント」の専任教員等の配置を「助教０」から「助教１」に変更。
・科目適合（審査済）の理由により、「看護研究」の専任教員等の配置を「教授４」から「教授５」、「准教授４」から「准教授３」に変更。
・科目適合（審査済）、新採用の理由により、「統合実習」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授３」、「准教授４」から「准教授３」、「助教０」から「助教１」、「助手８」から「助手７」に変更。
・教職課程再課程認定申請（教職員課）指導により、授業科目「特別支援教育論」を追加、専任教員等の配置を「兼任０」から「兼任１」に変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
78 科目	28 科目	23 科目	129 科目	78 科目 [0]	28 科目 [0]	24 科目 [1]	130 科目 [1]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

（該当なし）

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{129} = 0\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	借用面積：17011.00㎡ 借用期間：H11.1.1～40年間
	校舎敷地	5,642.21㎡	0㎡	0㎡	5,642.21㎡	
	運動場用地	4,082.27㎡	0㎡	0㎡	4,082.27㎡	
	小計	9,724.48㎡	0㎡	0㎡	9,724.48㎡	
	その他	9,919.96㎡	0㎡	0㎡	9,919.96㎡	
	合計	19,644.44㎡	0㎡	0㎡	19,644.44㎡	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
		14,849.82㎡ (14,849.82㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	14,849.82㎡ (14,849.82㎡)	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	18室	16室 ~~26室~~	25室	1室 (補助職員 1人)	0室 (補助職員 0人)	部屋の間仕切りを一部なくしたための減少(29)

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	保健医療学部リハビリテーション学科	16室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	保健医療学部	25,367〔429〕 ~~22,189〔411〕~~ (25,367〔429〕) ~~(22,189〔411〕)~~	170〔40〕 (170〔40〕)	16〔16〕 ~~7〔7〕~~ (16〔16〕) ~~(7〔7〕)~~	761 ~~571~~ (761) ~~(571)~~	5591 (5,591)	122 (122)	
	計	25,367〔429〕 ~~22,189〔411〕~~ (25,367〔429〕) ~~(22,189〔411〕)~~	170〔40〕 (170〔40〕)	16〔16〕 ~~7〔7〕~~ (16〔16〕) ~~(7〔7〕)~~	761 ~~571~~ (761) ~~(571)~~	5591 (5,591)	122 (122)	

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	1016.54㎡	146席 ~~104席~~	50,000冊	座席数の増加(29)

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		備考
	1,140.00㎡	－	－	

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要

経費の見積り 区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
教員１人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	15,700千円	17,000千円	17,000千円
共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	2,000千円	2,000千円	2,000千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
理学療法学専攻	1,550千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	－千円	－千円
作業療法学専攻	1,550千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	－千円	－千円
言語聴覚学専攻	1,500千円	1,250千円	1,250千円	1,250千円	－千円	－千円
学生納付金以外の維持方法の概要	補助金収入、雑収入					

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和２年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（２）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	福井医療大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
保健医療学部	4	180	－	720	－	0.95	0.96	－	平成29	－	
リハビリテーション学科	4	120	－	480	－	0.84	0.84	－	平成29	福井県福井市江上町55-13-1	
理学療法学専攻	4	50	－	200	学士（理学療法学）	1.11	1.22	－	平成29	同上	
作業療法学専攻	4	40	－	160	学士（作業療法学）	0.71	0.67	－	平成29	同上	
言語聴覚学専攻	4	30	－	120	学士（言語聴覚学）	0.59	0.43	－	平成29	同上	
看護学科	4	60	－	240	学士（看護学）	1.17	1.21	－	平成29	同上	
大学全体	－	180	－	720	－	－	－	－	－	－	

大学の名称	（該当なし）										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
（該当なし）											

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和２年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

（２） 専任教員数等

（２）ー① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

（注）・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）ー② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	助手（A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	助手（B'）
8 (5)	6 (4)	10 (8)	2 (0)	26 (17)	6 (0)	8	5	10	2	25	0
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	助手（C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	助手（D'）
8 [0]	5 [△1]	10 [0]	2 [0]	25 [△1]	7 [1]	8 [0]	5 [△1]	10 [0]	2 [0]	25 [△1]	7 [1]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）ー③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
60 歳	10 名	10 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）ー④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{25}{26} = 96.15\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{10}{25} = 40\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{7}{6} = 116.66\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （平成２８年）	・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から４年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	留意事項	設置計画は、設置認可時に掲げた理念・目的・教育目標を軸に、入学者選抜、教育課程、学位授与の方針に沿って実施している。 教育研究活動は、FD会議、研究促進会議、地域保健教育推進委員会主催のFD研修会、授業評価ｱﾝｹｰﾄ、ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ研修、研究倫理研修、出前講義を行う。(29)	履行済	
認　可　時 （平成２８年）	・今後、学生からの就職相談に十分に応対できるよう、養護教諭の需要の動向について更に分析をし、学生への適切な就職指導に万全を期すること。（看護学科）	留意事項	本学の学生は看護師の資格を取得した上で、希望者は養護教諭免許を取得する。学校現場、特に特別支援学校等においては、心のケアとともに医療的なケアが不可欠で看護師資格と養護教諭免許の両者が非常に重要となる。採用試験受験者の実態としては、現役で合格する場合もあるが、多くは講師として現場の経験を積み重ねているケースがある。本学では、このような状況を1年次より丁寧に学生に示すとともに、毎年の採用状況を踏まえ分析し、年次に応じた就職支援を進める。(29)	履行済	
認　可　時 （平成２８年）	・授業科目「健康増進科学演習」の授業目標について、教育課程の体系性や授業内容を踏まえつつ、適切に改めること。（看護学科）	留意事項	教職員課(教職課程申請)の指導により、開学以前に、健康増進科学演習の授業目標および授業内容について、ライフステージに応じた健康政策を学ぶことができるよう学修内容を修正するとともに、易学的な視点より考えることができるよう、学科目担当者(非常勤講師)が中心になり改め、開講(1年次後期)する(29)	履行済	

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況		未履行事項について の実施計画
認　可　時 （平成２８年）	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。（看護学科）	留意事項	高年齢の教員は、豊な教育経験と高度な知識と技能を有しており、大学完成年度に向けて、若手教員の教育活動や研究活動への指導には必要と考えている。そのためにも、開学後も若手教員の増員に関して、専門分野を考慮し段階整備し、高度の知識と技能を若手教員に研究活動を通じて教授していく。 同時に、高年齢の教員が担当している科目に関して、段階的に科目申請を行う。(29)	履行済	
設置計画履行状況 調　　査　　時 （平成２９年）	・保健医療学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	高齢の教員は、高度の知識と技能を有しており、大学完成年度に向けて、若手教員の研究、指導には必要と考えている。平成29年4月開学後に、若手教員の増員計画のもと、30、40歳代の教員4名の科目申請を行い、平成30年4月には新たに助手を2名配置した。引き続き、大学完成年度に向けて、若手教員の研究、指導を行い、高齢の教員が担当している科目に関して、段階的に科目申請を行う。(30)	履行中	
設置計画履行状況 調　　査　　時 （平成３０年）	・定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。（保健医療学部看護学科）	指摘事項 （改善）	開学2年目の平成30年5月に定年規程60歳を超える教員は18名中10名(55.55%)であった。平成31年3月に1名の高齢教員が退職し、平成31年4月には7名が設置計画に沿って増員となったことで、平成31年5月の定年規程60歳を超える教員は24名中11名(45.83%)となった。 本学は定年が60歳となっているが、高年齢者雇用確保措置に基づく継続雇用規程があり、希望者については65歳までの継続雇用となる。 平成31年5月の継続雇用規程65歳を超える教員は24名中4名(16.66%)となる。(元)	履行中	平成31年4月に助手を6名増員した。開学5年目には若手教員の指導を行っていた高齢教員が5名退職予定である。また助手1名を開学5年目に向けて助教にしていくことで、令和3年5月には定年規程60歳を超える教員は20名中7名(35%)となり、その後も、引き続き上記の比率低下に努めて行く。(元)

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況		未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調　　査　　時 （令和元年）	・定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから，定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに，教員組織編成の将来構想を策定し，着実に実行すること。（保健医療学部看護学科）	指摘事項 （改善）	令和2年3月に1名の高齢教員が退職し、令和2年4月には若手教員2名が設置計画に沿って増員となったことで、令和2年5月時点の定年規程60歳を超える教員は25名中10名(40.00%)となった。本学は定年が60歳となっているが、高年齢者雇用確保措置に基づく継続雇用規程があり、希望者については65歳までの継続雇用となる。令和2年5月の継続雇用規程65歳を超える教員は25名中4名(16.00%)となる。（２）	履行中	令和3年4月に向けて若手教員のAC教員審査申請を行う。高齢教員の採用は教育効果を考慮し、極力避けるようにし、定年退職予定者の授業科目については、若手教員が担当できるようにしていく。

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜保健医療学部　看護学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
（該当なし）	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

FD会議

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

原則として、月1回開催、必要に応じ臨時開催

会議の開催は、委員の3分の2以上の出席を以て成立

ｃ　委員会の審議事項等

(1)大学教育における教員の授業内容・方法の改善のための組織的な取組に関すること

(2)教育業績評価及び授業評価に関すること

(3)その他大学教育の改善についての必要な事項に関すること

②　実施状況

ａ　実施内容

・FD研修会の開催

・FD報告書の作成

ｂ　実施方法

・FD研修会・・・年2回

・FD報告書・・・3年に1回

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

・FD研修会・・・平成30年度　計4回 214名

・FD研修会・・・令和元年度　計2回　98名

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修では過去に以下の講演を行っており、教員には様々な視点からアプローチした講演内容を授業に反映できるよう努力を求め、結果は授業評価アンケートで一般に公開している。

令和元年度

講演内容・・・学生の学習モチベーションが上がる授業とは～予備校講師の経験から考える～

大学院設置運営と大学院教育・研究法

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

毎年、授業科目の試験時期に実施

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

学生に対する授業評価アンケート結果は授業科目担当教員に返し、学内掲示板で公開している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

学校教育法第69条の3及び学校教育法施行令第40条の規定に準じ、且つ学校法人新田塚学園福井医療大学学則第3条の規定に基づき、学園及び本学の教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するために、自ら点検及び評価を行い、併せて第三者による評価を実施する「自己点検・評価委員会」を設置する。

委員会では大学の理念目的が、教育研究組織、教育内容・方法・成果、学生の受け入れ、学生支援、教育研究等環境、社会連携・社会貢献、管理運営・財務、内部質保証に反映されているか検証し、報告書を作成していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和３年７月１日　公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和３年７月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和４年度に評価機関（未定）の評価を受けるべく，学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和２年度）

a 公表予定の有無 〔 有 ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 〔 調査結果公表後１ヶ月以内 ・ 公表後２～３ヶ月以内 ・ 公表後３ヶ月以降 〕

c 公表方法 〔 ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

福井医療大学ＦＤ会議規程

（目的）

第１条　福井医療大学（以下「本学」という。）教員の教育・研究活動の向上・能力開発に関して恒常的に検討を行い、その質的充実を図ることを目的として、教授会の基に、ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）会議（以下「会議」という。）を置く。

（組織）

第２条　会議は、次の各号に掲げる委員で組織する。

(1)　学長

(2)　副学長

(3)　学部長

(4)　リハビリテーション学科　教員　3名

(5)　看護学科　教員　1名

(6)　事務員

(7)　学長が指名した教職員

（任期）

第３条　委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

２　会議は学長がこれを招集し、その議長となる。

（会議）

第４条　会議は、原則として、月1回開催する。なお、必要に応じ臨時開催をすることができる。

２　会議の開催は、委員の3分の2以上の出席を以て成立するものとする。

（協議事項）

第５条　会議の協議事項は、次のとおりとする。

(1)　大学教育における教員の授業内容・方法の改善のための組織的な取組に関すること。

(2)　教育業績評価及び授業評価に関すること。

(3)　その他大学教育の改善についての必要な事項に関すること。

（庶務）

第６条　委員会の庶務は、事務課が担当し、連絡、議事録作成等を行う。

（報告）
第７条　委員会の活動については、教授会に議事録を添えて報告する。

（規程の改廃）
第８条　この規程の改廃は、委員会の議を経て、運営会議の承認を得なければならない。

附　則
附則1　この規程は、平成29年4月1日より施行する。